

令和4年度全国学力・学習状況調査

# 結果分析の概要

寒川町教育委員会

令和4年12月

# 目次

はじめに	寒川町教育委員会の姿勢 ～変わらずに大切なこと～	・・・ 2
1	子どもたちを支える環境づくり	
	◇基礎・基本的な生活習慣について	・・・ 6
	◇主体的な学習を支える基盤づくりについて	・・・ 14
2	資質・能力を育むための授業づくり	
	～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善～	・・・ 21
	◇資質・能力を育むために	
	・調査結果 国語	
	・調査結果 算数・数学	
	・調査結果 理科	
	◇「考え」を発信する場や機会をもつために	・・・ 33
3	今後に向けて	
	～今までも大切にしていたこと、これからも大切にすること～	
	◇ <u>家庭で育まれていること、これからも育てほしいこと</u>	・・・ 46
	◇ <u>学校で育まれていること、これからも育ていくこと</u>	
	◇ <u>主体的・対話的で深い学びの授業改善を通して育まれたこと、これからも育ていきたいこと</u>	
	◇ <u>教室を離れても学び続ける子どもの姿を…</u>	

## 寒川町教育委員会の姿勢 ～変わらずに大切なこと～

全国学力・学習状況調査は平成 25 年度から、全国全ての小学校、中学校を対象に調査が行われてきました。令和 4 年度の調査の目的は次のとおりです。

### 【調査の目的】<sup>1</sup>

- 学力や学習状況を把握して、分析すること
- 教育施策の成果と課題を検証して、その改善を図ること
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てること
- 教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること

これとともに、変わらないこととしては、

### 【調査結果の取扱いに関する配慮事項】<sup>2</sup>

- 本調査の目的や、調査結果が学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であること
- 序列化につながる取組が必要であること

この部分について、令和 4 年度の全国学力・学習状況調査に関する実施要領でも、

### 【調査結果の取扱いに関する配慮事項】

- 調査により測定できるのは学力の特定の一部であること
- 学校における教育活動の一側面であること
- 序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮すること

この調査で分かることは学力の特定の一部であること、この調査結果を受けて、序列化や過度の競争が生まれぬよう配慮することが求められています。

\* 「全国学力・学習状況調査に関する実施要領」については、以降「実施要領」と表記する。

1【調査の目的】 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。（令和 4 年度 実施要領より）

2【調査結果の取扱いに関する配慮事項】 調査結果の公表にあたっては、本調査の目的や、調査結果が学力の特定の一部であることなどを明示するとともに、序列化につながる取組が必要。（平成 25 年度 実施要領より）

寒川町教育委員会では令和4年度についてもこのことをしっかりと受け止め、全国学力・学習状況調査を次のように取り扱い、寒川町の教育のより一層の発展を目指していきます。

#### 【寒川町教育委員会として】

- 序列化や過度な競争が生じないように配慮します。  
(調査結果については、単に平均正答数や平均正答率などの数値のみの公表は行いません。)
- 学力の特定の一部、教育活動の一側面であることに十分に留意します。  
(他の市町村や過去の結果との数値のみの比較に終わらず、平均正答数や平均正答率の現状についてしっかりと受け止めていきます。)
- 調査結果について分析を行い、その分析結果を併せて公表します。
- 調査結果の分析を踏まえた今後の改善方策を示していきます。
- 調査結果の分析内容や改善方法については、寒川町ホームページに掲載するだけでなく、家庭版学校教育だより等で家庭への発信をし、家庭と共に学習について考えていきます。

また、次のことを踏まえて分析をしていきます。

#### 【分析をする上での留意点】

- 学校での教育実践と調査結果との関わりについて検証していきます。
- 「これまでに取り組んで『強み』になったこと」を成果としています。
- 「これまでも取り組んできて、これからも取り組んでいきたいこと・より重点的に今後取り組みたいこと」を課題とします。
- 寒川町の児童・生徒やその保護者の取組、また教職員の教育実践の方向性について、学習指導要領やこれから求められる力と関連付けていきます。

## ～学びの主役は子ども～

小学校は令和2年度、中学校は令和3年度から全面実施された学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善<sup>3</sup>（アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善）が求められ、教員が「何を教えるか」から児童・生徒を主語にした「何ができるようにするか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」に視点が変わりました。つまり、児童・生徒が学びの主役となり学習を進めることが求められています。

児童・生徒が主体的な学びを追究していくためには、子ども自身が興味を持って積極的に取り組むとともに、課題を見い出し、見通しを持って粘り強く授業に取り組めるような教師の工夫や努力が必要です。また、対話的な学びを深めるためには、自分の考えを友達に伝えたい・話したいと思わせる場の設定や、有意義な話し合いをするための教師の働き

かけや、子どもたちが行っていることの価値づけが大事となってきます。さらに、深い学びを追究してくためには、教科特有の見方・考え方を働かせて、教科の本質に迫る授業を構想する必要があります。このような日々の授業の積み重ねによって、子どもたちに、「生きる力」<sup>4</sup>を育むことができます。

寒川町では、学習指導要領の趣旨に則り、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善の実現に向けて取り組んでいます。この取組の成果の一部は、児童質問紙調査や生徒質問紙調査の結果に表れています。

これまでの寒川町の取組では、児童・生徒の努力、保護者の支え、地域の協力、学校における授業改善の実現によって、着実に積み上げられてきています。

全国学力・学習状況調査の結果を学力の一部として真摯に受け止め、学校、地域、家庭が、子どもたちの未来のために一緒になって取り組んでいきたいと考えております。

- 
- 3（「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善）子どもたちが、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするためには、これまでの学校教育の蓄積を生かし、学習の質を一層高める授業改善の取組を活性化していくことが必要であり、我が国の優れた教育実践に見られる普遍的な視点である「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善（アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善）を推進する必要がある。

（学習指導要領解説 総則編より）

- 4【生きる力とは】今回の改訂においては、情報化やグローバル化といった社会的変化が、人間の予測を超えて加速度的に進展するようになってきていることを踏まえ、複雑で予測困難な時代の中でも、児童・生徒一人一人が、社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、自らの可能性を発揮し多様な他者と協働しながら、よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、未来の創り手となることができるよう、教育を通してそのために必要な力を育んでいくことを重視している。

（学習指導要領解説 総則編より）

# 1 子どもたちを支える環境づくり

～学校と保護者との協力～

## ◇基礎・基本的な生活習慣について

- ・基礎・基本的な生活リズムの安定が学習意欲を高めます
- ・計画的な学習によって、学びの定着が図られます

## ◇主体的な学習を支える基盤づくりについて

- ・主体的な学習を支える基盤づくり
- ・資質・能力の育成に向けて ICT を効果的に活用する

## 基礎・基本的な生活リズムの安定が学習意欲を高めます

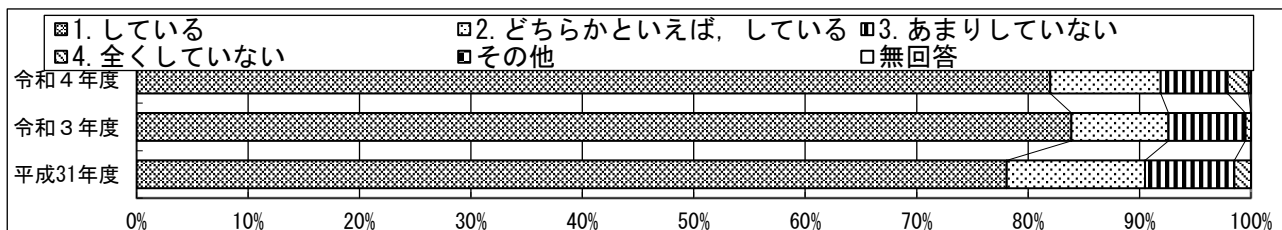
子どもたちが健やかに成長していくためには、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切です。早寝・早起きを中心とした生活リズムを安定させるためには、家庭の支えが大きく関わってきます。家庭での協力を得て、児童・生徒が規則正しい生活を送ることができ、学校での学習においても集中力を発揮し、取り組むことができます。

以下は児童・生徒質問紙調査での、児童・生徒の基本的生活習慣についての項目です。

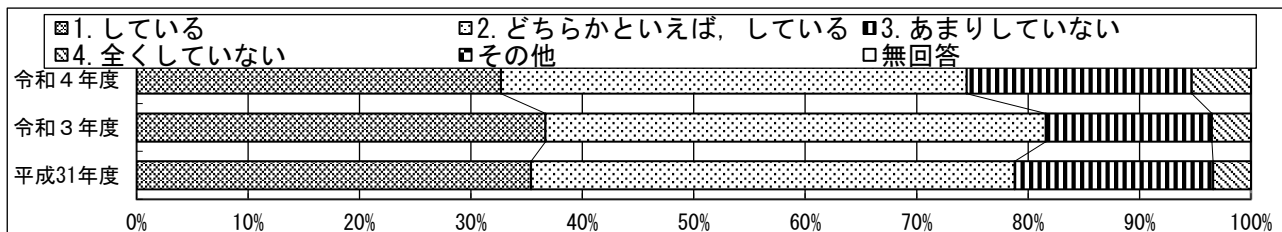
【児童・生徒質問紙（１）「朝食を毎日食べていますか」】、【児童・生徒質問紙（２）「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」】、【児童・生徒質問紙（３）「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」】については、結果からわかるように、多くの子どもたちが、毎日しっかりと朝ごはんを食べ、決まった時刻に起きる規則正しい生活を送っていることがわかります。小学校では、朝食を食べている児童の割合、決まった時刻に起きている児童の割合は前年度に比べ少し減っていますが、学年が上がるにつれて、割合も上がってきています。規則正しい生活を送ることが習慣化することによって、子どもたちは学校での授業においても、集中して取り組むことができます。一方、就寝時刻については、決まった時刻に毎日寝る子どもの割合が減ってきていることが気になります。今後も注意して見ていくことが必要です。これからも、「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に取り組んでいきましょう。

### 【小学校児童質問紙】

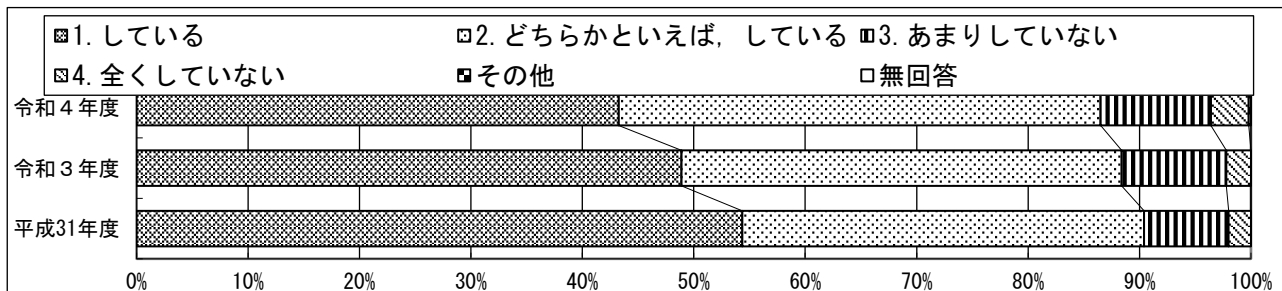
質問番号	質問事項										
(1)	朝食を毎日食べていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	82.0	9.9	6.0	1.9				91.9		0.2	0.0
令和3年度	83.9	8.7	6.9	0.5				92.6		0.0	0.0
平成31年度	78.0	12.4	8.0	1.5				90.4		0.0	0.0



質問番号	質問事項										
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	32.7	41.8	20.2	5.3				74.5		0.0	0.0
令和3年度	36.7	44.9	14.9	3.5				81.6		0.0	0.0
平成31年度	35.4	43.4	17.8	3.4				78.8		0.0	0.0

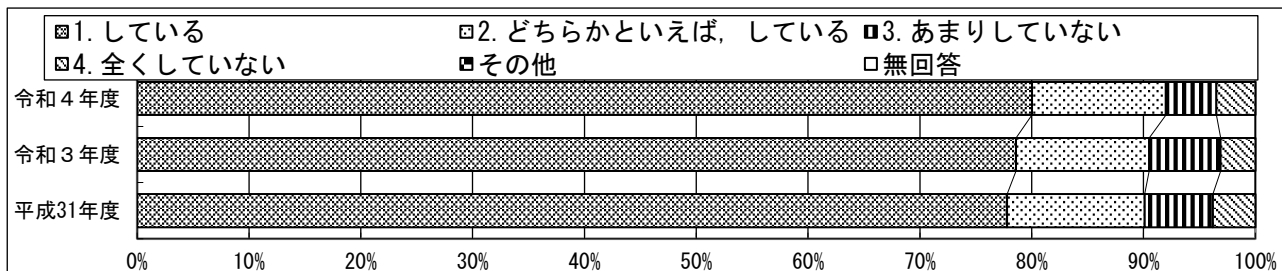


質問番号	質問事項										
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	43.3	43.3	9.9	3.4				86.6		0.2	0.0
令和3年度	48.9	39.5	9.4	2.2				88.4		0.0	0.0
平成31年度	54.4	36.1	7.6	2.0				90.5		0.0	0.0

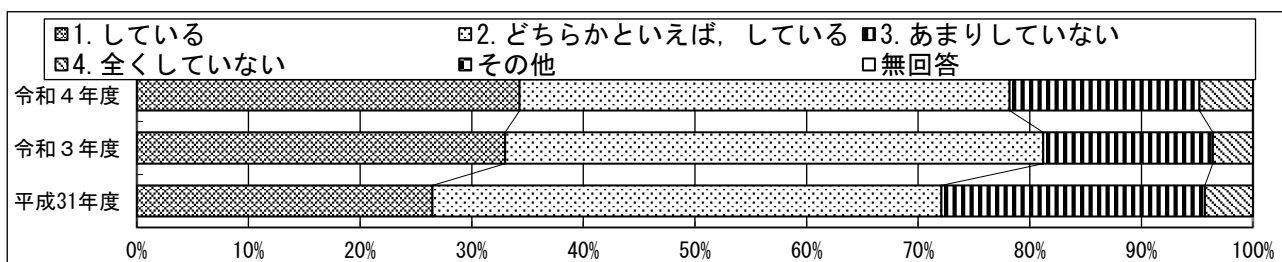


【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項										
(1)	朝食を毎日食べていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	80.1	12.0	4.5	3.5				92.1		0.0	0.0
令和3年度	78.6	11.9	6.4	3.1				90.5		0.0	0.0
平成31年度	77.8	12.3	6.1	3.8				90.1		0.0	0.0

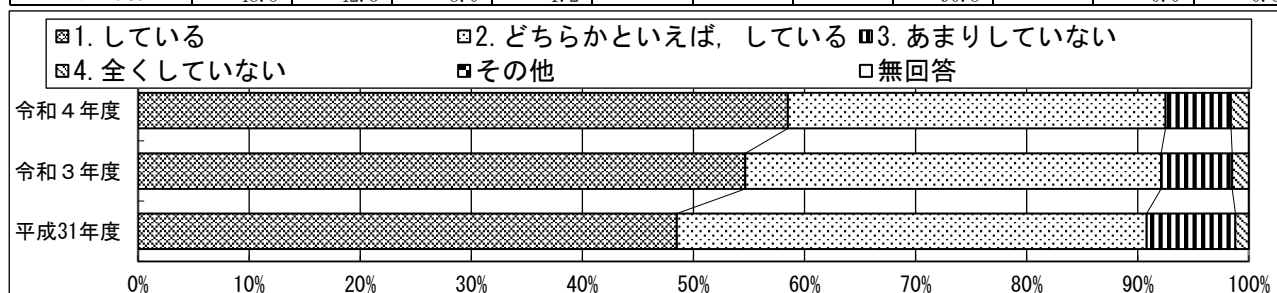


質問番号	質問事項										
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	34.3	43.9	17.0	4.8				78.2		0.0	0.0
令和3年度	33.0	48.2	15.2	3.6				81.2		0.0	0.0
平成31年度	26.5	45.6	23.6	4.3				72.1		0.0	0.0





質問番号	質問事項										
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	58.5	34.0	5.9	1.6				92.5		0.0	0.0
令和3年度	54.6	37.4	6.4	1.5				92.0		0.0	0.0
平成31年度	48.5	42.3	8.0	1.2				90.8		0.0	0.0



## 計画的な学習によって、学びの定着が図られます

今年度の児童・生徒質問紙調査の結果において、計画的に学習に取り組む児童・生徒の割合が減っていることがわかります。しかし、年を重ねると割合が増加し、学習習慣が定着してきている様子も伝わってきます。

また、今年度の児童生徒質問紙調査の結果から、放課後、寒川町の児童・生徒がゲームやSNS、動画視聴に費やす時間が全国平均よりも多いことがわかりました。ゲームに費やす時間と各教科の正答率には関係性があることをクロス集計から見て取ることができます。放課後、テレビゲームに費やす時間が長いほど、平均正答率が低くなるという傾向です。

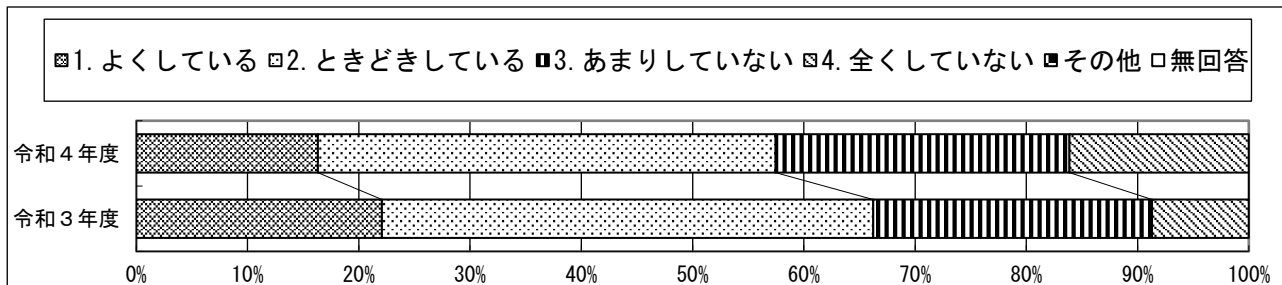
こつこつと地道に、継続して学習することが学力向上への道です。家庭において計画的に学習することで、学校での学習内容がさらに「わかる」「できる」ようになり、自信がついてくるとともに、日々の積み重ねの上に学習の定着が図られます。

家庭学習には家庭学習支援ソフト「e-ライブラリ」も活用できます。計画を立てて取り組むよさを実感できることで、学習意欲もさらに高まってきます。

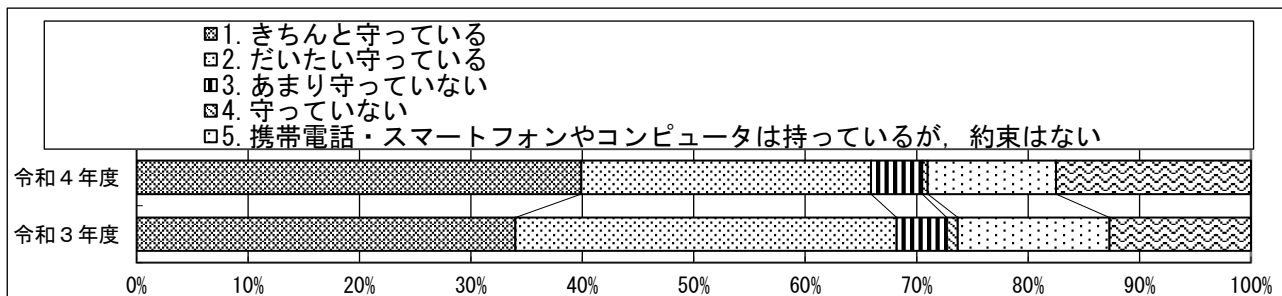
【児童生徒質問紙(4)「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか】では、中学校では「守っている」という答えが全国平均を上回っています。家庭でしっかりと話し合われている様子が見えてきます。その良さを生かし、ゲームやSNS、動画視聴に費やす時間の長さも含め、学校から帰宅した後の時間の過ごし方について、今一度考える機会を家庭で持ってください。

【小学校児童質問紙】

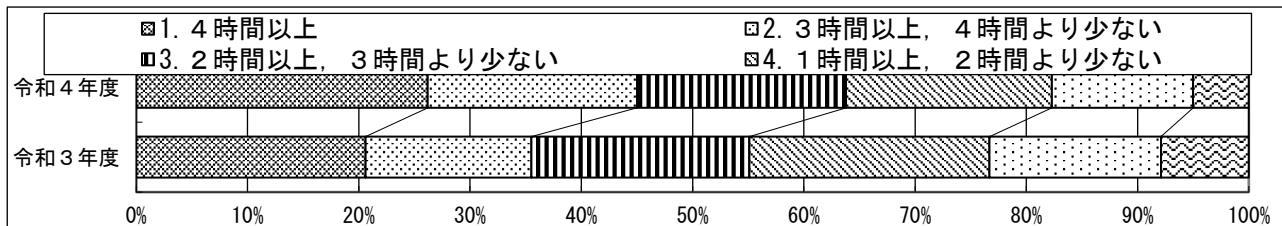
質問番号	質問事項										
(20)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	16.3	41.1	26.4	16.1				57.4		0.0	0.0
令和3年度	22.1	44.2	25.1	8.7				66.3		0.0	0.0



質問番号	質問事項										
(4)	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	39.9	26.0	4.6	0.5	11.5	17.5		65.9		0.0	0.0
令和3年度	34.0	34.2	4.5	1.0	13.6	12.7		68.2		0.0	0.0



質問番号	質問事項										
(5)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	(1+2)		その他	無回答
令和4年度	26.2	18.8	18.8	18.5	12.7	5.0		45.0		0.0	0.0
令和3年度	20.6	14.9	19.6	21.6	15.4	7.9		35.5		0.0	0.0

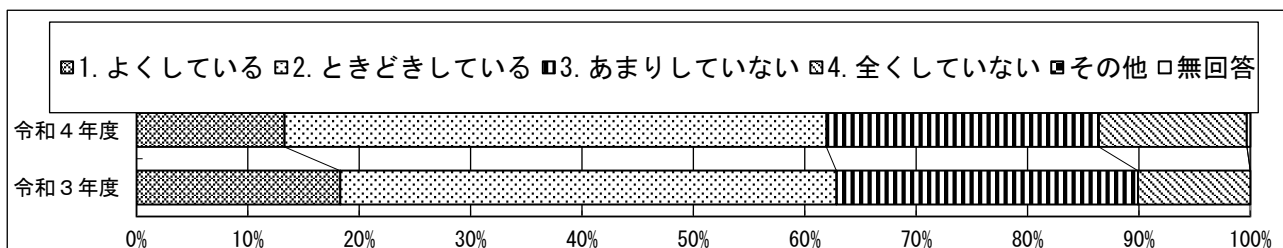


質問番号	質問事項										
(6)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	14.9	12.3	14.7	16.3	11.5	9.6	20.7	27.2		0.0	0.0

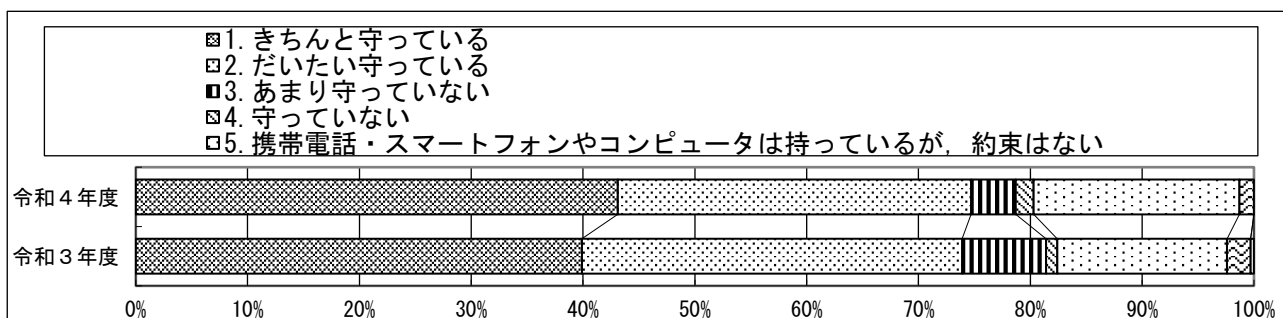


【中学校生徒質問紙】

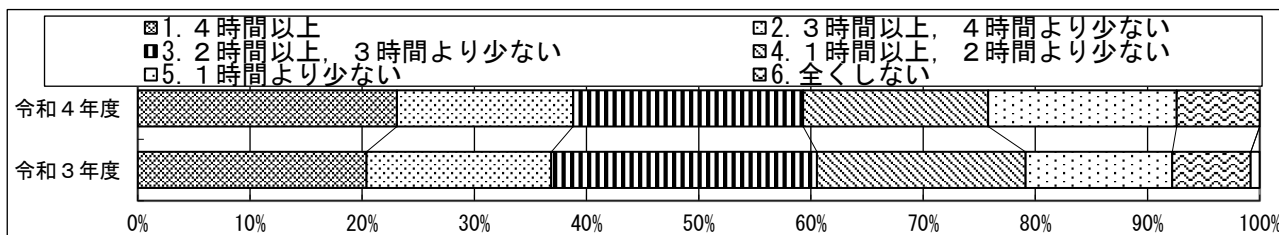
質問番号	質問事項										
(20)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	13.3	48.7	24.5	13.3				62.0		0.0	0.3
令和3年度	18.3	44.6	27.1	10.1				62.9		0.0	0.0



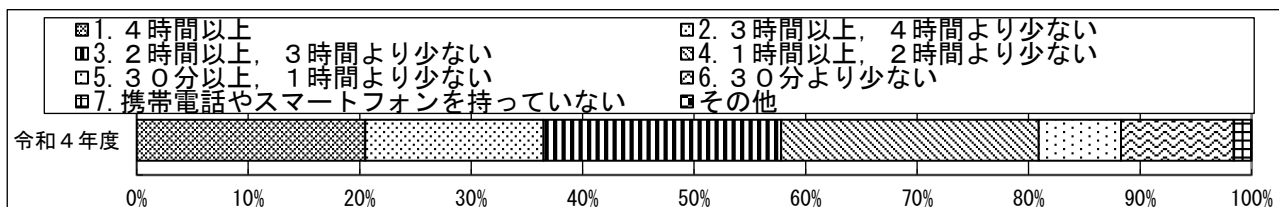
質問番号	質問事項										
(4)	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	43.1	31.6	4.0	1.6	18.4	1.3		74.7		0.0	0.0
令和3年度	39.9	34.0	7.5	1.0	15.2	2.1		73.9		0.0	0.3



質問番号	質問事項										
(5)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	23.1	15.7	20.5	16.5	16.8	7.4		38.8		0.0	0.0
令和3年度	20.4	16.5	23.7	18.6	13.1	7.0		36.9		0.0	0.8



質問番号	質問事項										
(6)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	20.5	16.0	21.3	23.1	7.4	10.1	1.6	36.5		0.0	0.0



## 【クロス集計 小学校】

質問番号	質問事項
(5)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

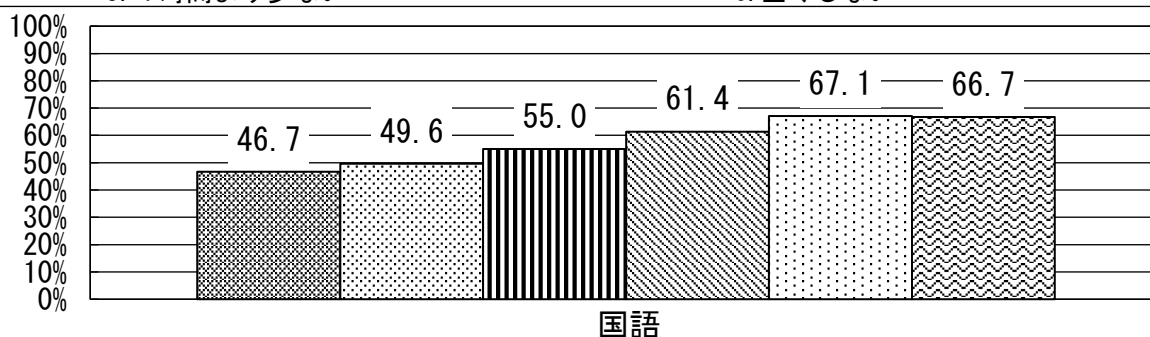
## &lt;全国&gt;

選択肢	児童数	児童数の割合(%)	平均正答率(%)		
			国語 (14問)	算数 (16問)	理科 (17問)
1 4時間以上	166,130	17.0	54.6	52.8	52.8
2 3時間以上、4時間より少ない	131,024	13.4	60.5	58.1	58.3
3 2時間以上、3時間より少ない	189,858	19.4	64.6	62.1	62.2
4 1時間以上、2時間より少ない	253,014	25.9	69.1	66.4	66.5
5 1時間より少ない	161,428	16.5	73.6	70.9	70.8
6 全くしない	74,656	7.6	75.5	72.5	72.6

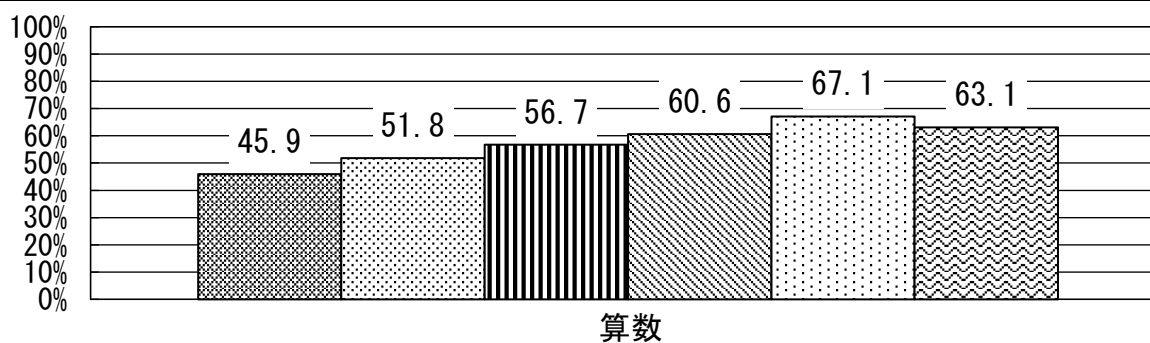
## &lt;寒川町&gt;

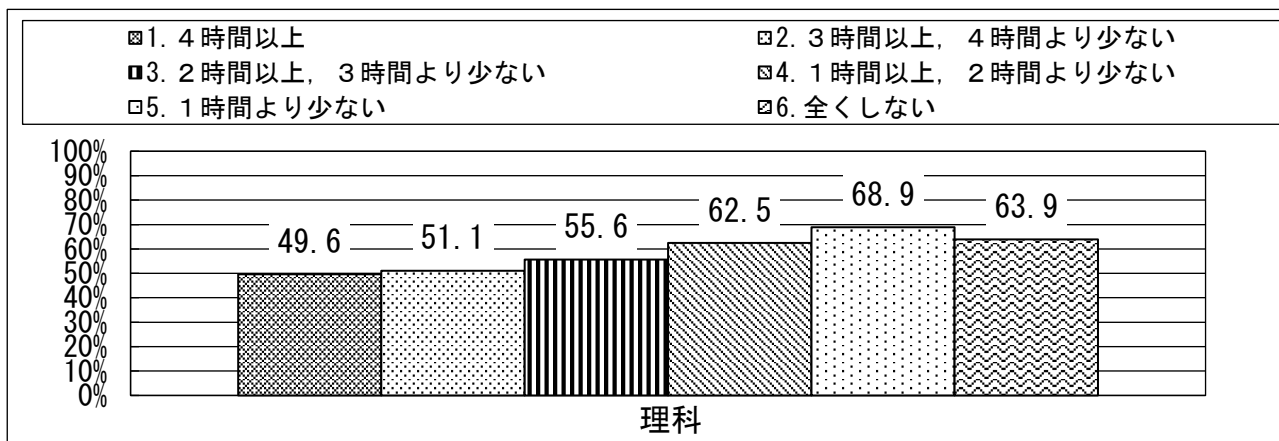
選択肢	児童数	児童数の割合(%)	平均正答率(%)		
			国語 (14問)	算数 (16問)	理科 (17問)
1 4時間以上	109	26.2	46.7	45.9	49.6
2 3時間以上、4時間より少ない	78	18.8	49.6	51.8	51.1
3 2時間以上、3時間より少ない	78	18.8	55.0	56.7	55.6
4 1時間以上、2時間より少ない	77	18.5	61.4	60.6	62.5
5 1時間より少ない	53	12.7	67.1	67.1	68.9
6 全くしない	21	5.0	66.7	63.1	63.9

1. 4時間以上  
 2. 3時間以上、4時間より少ない  
 3. 2時間以上、3時間より少ない  
 4. 1時間以上、2時間より少ない  
 5. 1時間より少ない  
 6. 全くしない



1. 4時間以上  
 2. 3時間以上、4時間より少ない  
 3. 2時間以上、3時間より少ない  
 4. 1時間以上、2時間より少ない  
 5. 1時間より少ない  
 6. 全くしない





【クロス集計 中学校】

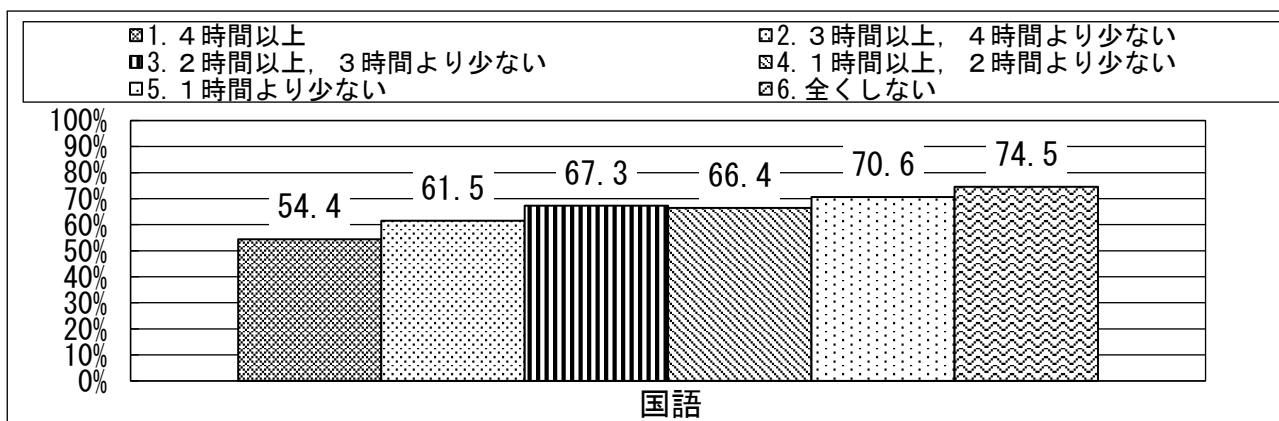
質問番号	質問事項
(5)	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか

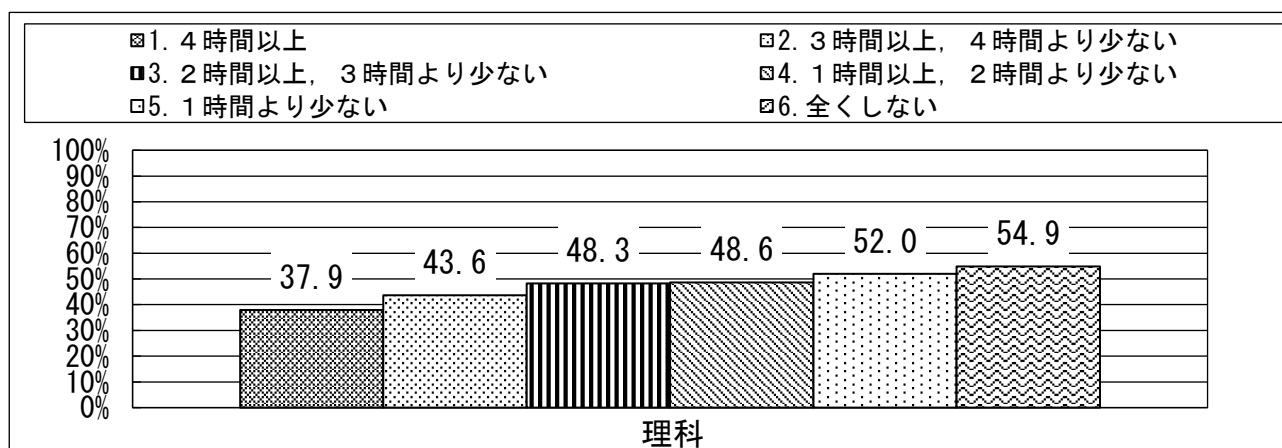
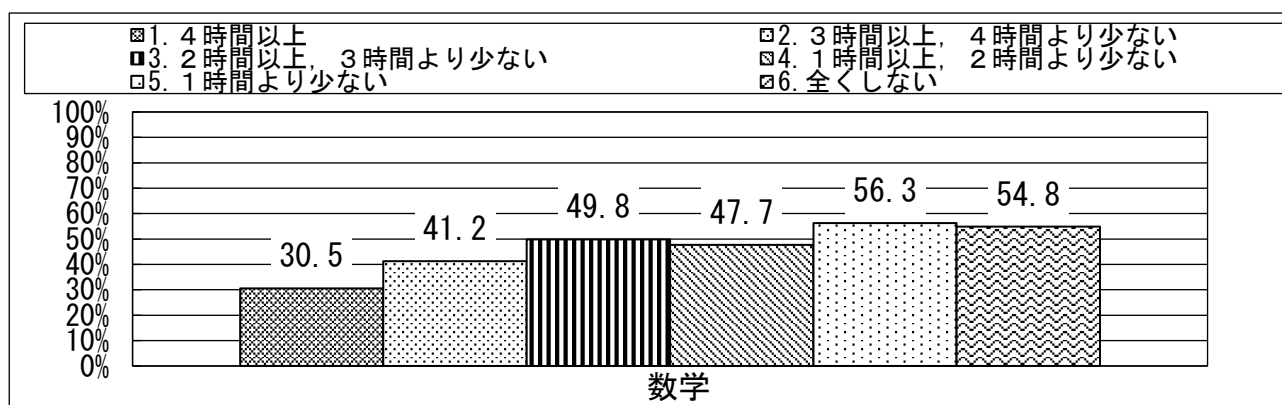
<全国>

選択肢	生徒数	生徒数の割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語 (14問)	数学 (14問)	理科 (21問)
1 4時間以上	148,708	16.1	59.5	39.9	41.7
2 3時間以上, 4時間より少ない	123,501	13.3	64.3	45.4	44.9
3 2時間以上, 3時間より少ない	188,770	20.4	67.7	50.3	48.2
4 1時間以上, 2時間より少ない	195,167	21.1	71.7	56.0	52.3
5 1時間より少ない	156,250	16.9	76.0	60.1	55.5
6 全くしない	112,047	12.1	77.4	60.1	55.8

<寒川町>

選択肢	生徒数	生徒数の割合 (%)	平均正答率 (%)		
			国語 (14問)	数学 (14問)	理科 (21問)
1 4時間以上	87	23.1	54.4	30.5	37.9
2 3時間以上, 4時間より少ない	59	15.7	61.5	41.2	43.6
3 2時間以上, 3時間より少ない	77	20.5	67.3	49.8	48.3
4 1時間以上, 2時間より少ない	62	16.5	66.4	47.7	48.6
5 1時間より少ない	63	16.8	70.6	56.3	52.0
6 全くしない	28	7.4	74.5	54.8	54.9





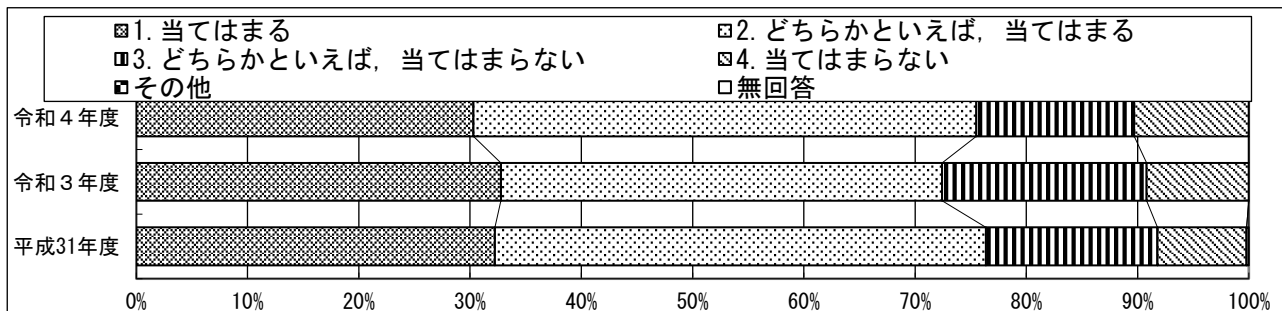
## 主体的な学習を支える基盤づくり

児童・生徒が相互によさを認め合い、励まし合い、支え合う人間関係は、学級・学校の基盤であり、生きる原動力となります。児童・生徒が充実した学校生活を送るためには、「自分のことが好き」と思う気持ち（自尊感情）を育み、学級・学校を構成する一員であるという所属感を持たせ、周りから認められているという充実感を味わわせるようにすることが必要です。

【児童・生徒質問紙(7)「自分には、よいところがあると思いますか】では、多くの児童・生徒がよいところがあると回答しています。また、【児童・生徒質問紙(12)「人が困っているときは、進んで助けていますか】【児童・生徒質問紙(15)「人の役に立つ人間になりたいと思いますか】においても高い割合で当てはまると回答しています。児童・生徒自身が互いのよさを認め合い、支え合う人間関係の構築が進んでいる結果の表れであり、これまで寒川町が各学級・学校において積極的に取り組んできた道徳教育や人権教育をはじめとする様々な教育活動の成果とも言えます。この強みを生かして、さらに学びの場をよい環境にできるよう取組を継続していくことが大切です。

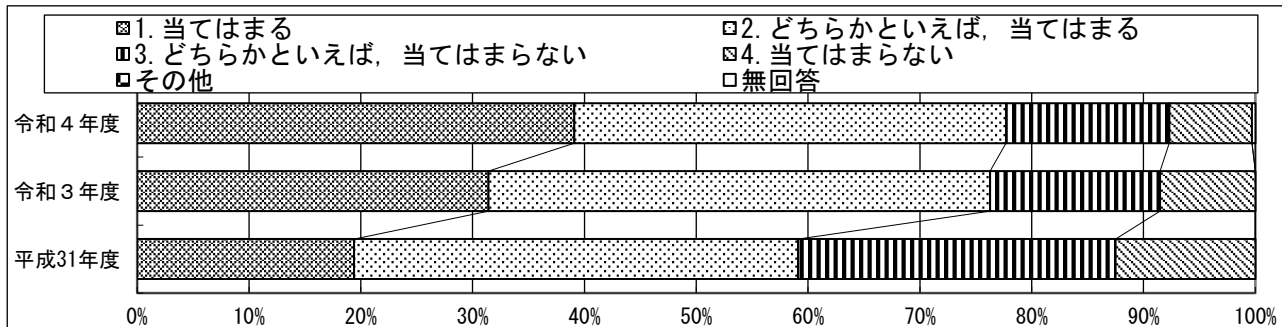
【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項										
(7)	自分には、よいところがあると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	30.3	45.2	14.2	10.3				75.5		0.0	0.0
令和3年度	32.8	39.7	18.4	9.2				72.5		0.0	0.0
平成31年度	32.2	44.1	15.4	8.0				76.3		0.0	0.2



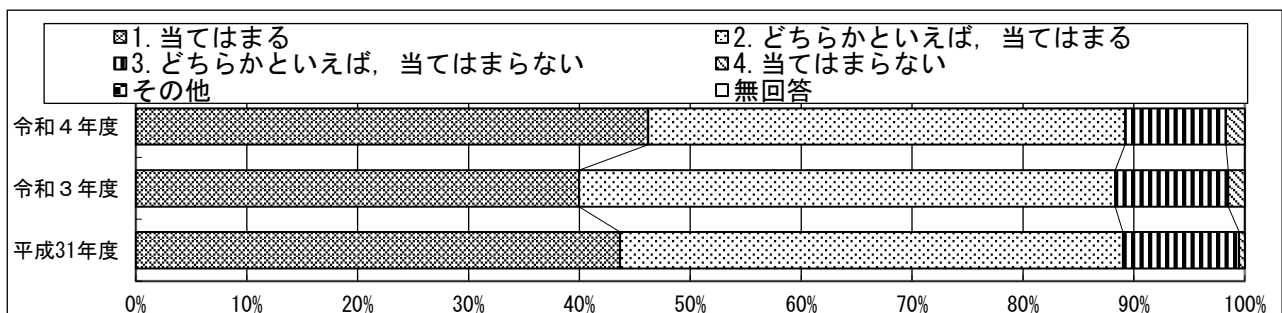
【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項										
(7)	自分には、よいところがあると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	39.1	38.6	14.6	7.4				77.7		0.0	0.3
令和3年度	31.4	44.8	15.2	8.5				76.2		0.0	0.0
平成31年度	19.4	39.7	28.4	12.5				59.1		0.0	0.0



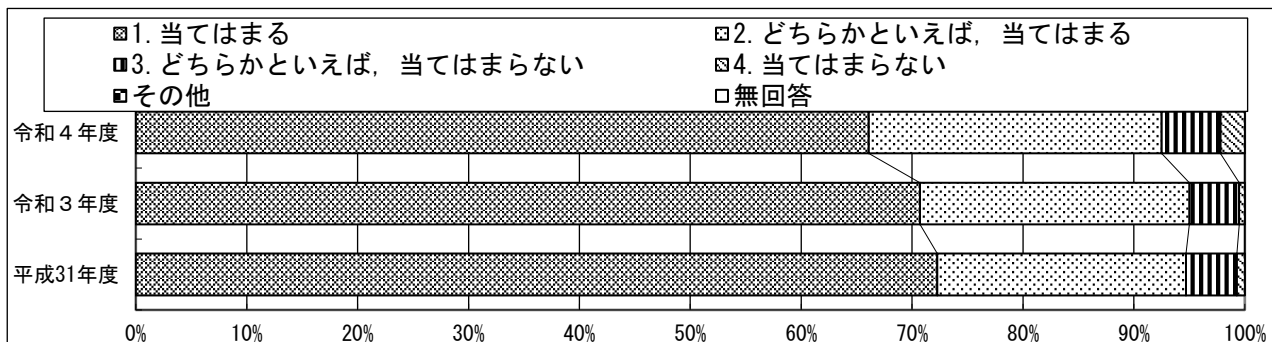
【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項										
(12)	人が困っているときは、進んで助けていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	46.2	43.0	9.1	1.7				89.2		0.0	0.0
令和3年度	40.0	48.4	10.2	1.5				88.4		0.0	0.0
平成31年度	43.7	45.4	10.5	0.5				89.1		0.0	0.0



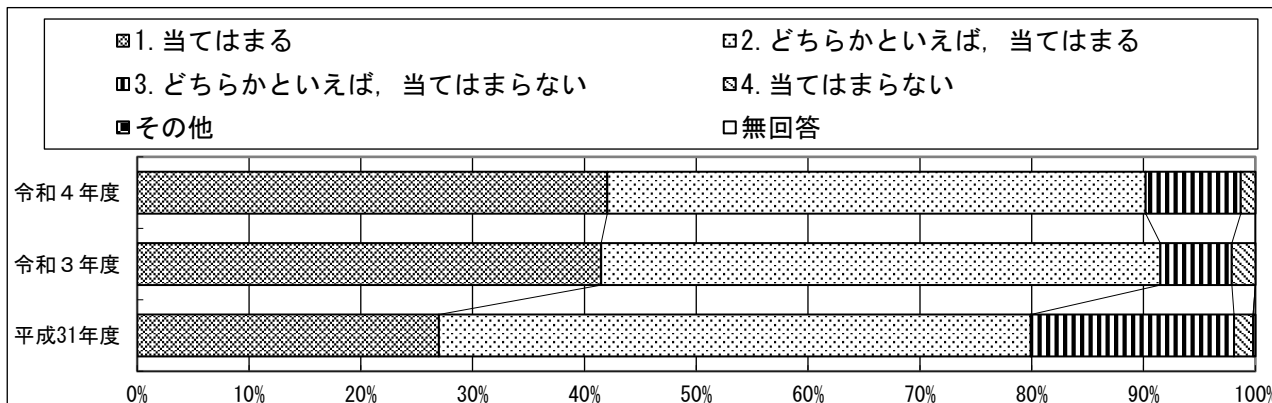


質問番号	質問事項										
(15)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	66.1	26.4	5.3	2.2				92.5		0.0	0.0
令和3年度	70.7	24.3	4.5	0.5				95.0		0.0	0.0
平成31年度	72.2	22.4	4.6	0.7				94.6		0.0	0.0

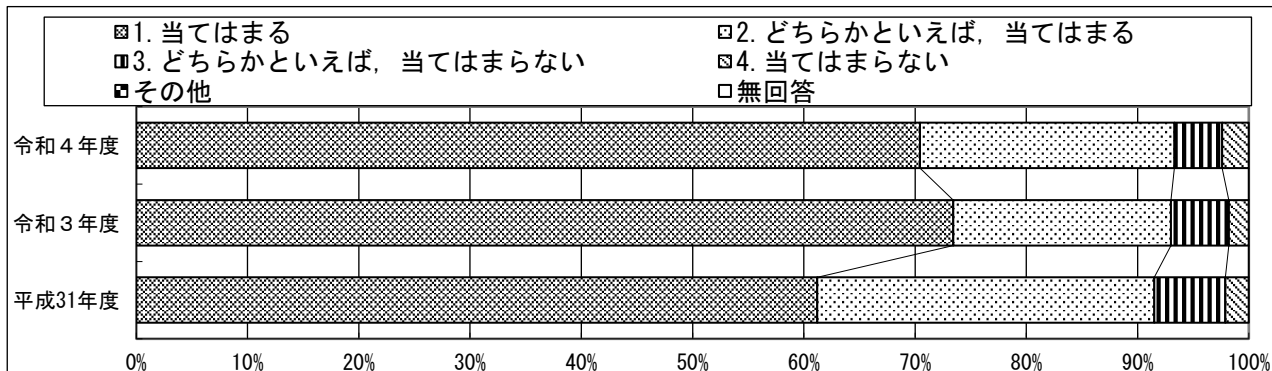


【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項										
(12)	人が困っているときは、進んで助けていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	42.0	48.1	8.5	1.3				90.1		0.0	0.0
令和3年度	41.5	50.0	6.4	2.1				91.5		0.0	0.0
平成31年度	27.0	53.0	18.2	1.7				80.0		0.0	0.2



質問番号	質問事項										
(15)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	70.5	22.9	4.3	2.4				93.4		0.0	0.0
令和3年度	73.5	19.6	5.2	1.8				93.1		0.0	0.0
平成31年度	61.2	30.3	6.4	2.1				91.5		0.0	0.0





## 資質・能力の育成に向けてICTを効果的に活用する

小学校、中学校共に、【児童・生徒質問紙（32）「5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか】、【児童・生徒質問紙（34）「学校で学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか】【児童・生徒質問紙（35）「学校で自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか】から、ICT機器を使用している頻度は全国と比べても非常に高いことが分かりました。GIGAスクール構想の実現に向けて環境整備が進み、学校における授業改善も着実に進んできていることを示しています。

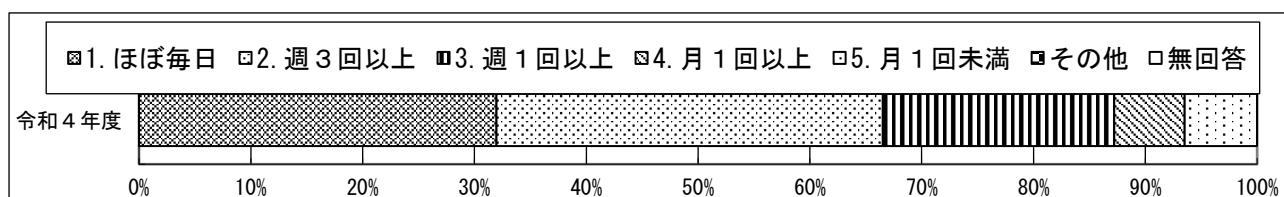
学習指導要領では、学習の基盤となる資質・能力の一つに情報活用能力を位置づけ、各教科におけるICTを活用した学習活動の一層の充実を目指しています。

しかし、ICT活用は、授業改善の一手段であるため、「ICTを学ぶ」ということではなく、ICTの特性や強みを生かして、授業のねらいを達成させるために必要と思われる場面において活用する「学びの支援ツール」という視点を持つことが大切です。

ICTを使って意見を共有した後は、もう一度自分自身の考えを深める時間を取り、考えをまとめて書くことで、深い学びとなります。また、深い学びを支える土台となるのは基礎基本の学びです。「漢字を書く」「計算問題を解く」などの基礎基本の土台があつてこそ応用の力が積み重なっていきます。今後は、授業の中でのICT機器の使用場面を精査し、より一層効果的に活用していく必要があります。

### 【小学校児童質問紙】

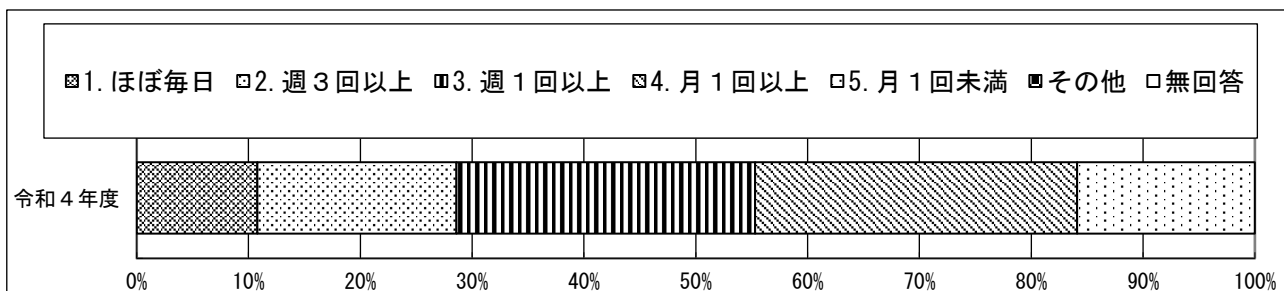
質問番号	質問事項										
(32)	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7			その他	無回答
令和4年度	32.0	34.6	20.7	6.3	6.5					0.0	0.0



質問番号	質問事項										
(34)	学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7			その他	無回答
令和4年度	10.3	19.2	32.7	22.6	15.1					0.0	0.0

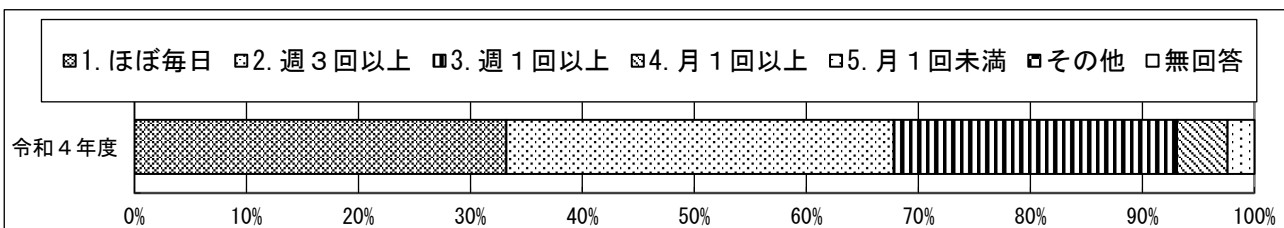


質問番号	質問事項									
(35)	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7		その他	無回答
令和4年度	10.8	17.8	26.7	28.8	15.9				0.0	0.0

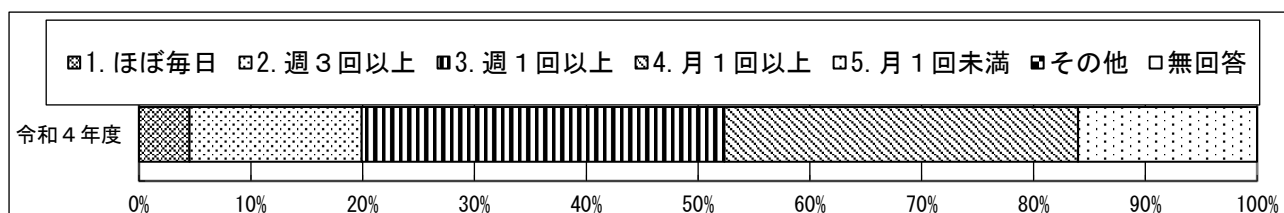


【中学校生徒質問紙】

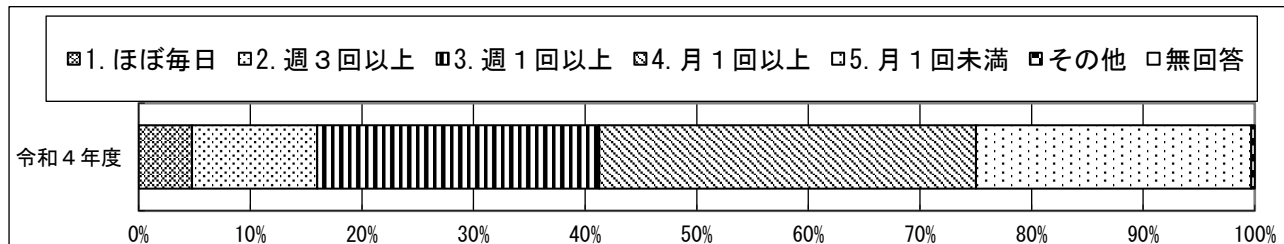
質問番号	質問事項									
(32)	1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7		その他	無回答
令和4年度	33.2	34.6	25.3	4.5	2.4				0.0	0.0



質問番号	質問事項									
(34)	学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7		その他	無回答
令和4年度	4.5	15.4	32.4	31.6	16.0				0.0	0.0



質問番号	質問事項									
(35)	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7		その他	無回答
令和4年度	4.8	11.2	25.3	33.8	24.7				0.3	0.0



## 2 資質・能力を育むための授業づくり

～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善～

### ◇資質・能力を育むために

・調査結果 小学校 国語

中学校 国語

・調査結果 小学校 算数

中学校 数学

・調査結果 小学校 理科

中学校 理科

### ◇「考え」を発信する場や機会をもつために

## 資質・能力を育むために ～「何を教えるか」ではなく「どのように学ぶか」～

### これから求められることは、知識をいかに活用することができるか

平成29年3月に公示された学習指導要領<sup>5</sup>では、教科等の目標や内容について、生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」という3つの柱に基づいて再整理され、これらの資質・能力の3つの柱が相互に関係し合いながら育成されるものという考え方に立っています。そのための授業改善の一つとして、学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」のある授業の実現が求められています。そこでは、教師が主役ではなく、学習の主役は児童・生徒です。「主体的・対話的で深い学び」の視点から、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」といった3つの資質・能力を育成することを目指して授業改善を図っていきます。「主体的・対話的で深い学び」が目的ではなく、資質・能力を育むことが授業改善の目的です。授業を通して、単元を通して、教育課程を通して、子どもたちにどのような姿になってほしいのか、また、担任として、学年として、学校としてどのような力をつけていきたいのか、小さな視点ではなく、大きな視野をもって、子どもたちの成長を願い、よさを育んでいく必要性があります。

5【学習指導要領との関連：主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善】単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと。特に、各教科等において身に付けた知識及び技能を活用したり、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等を發揮させたりして、学習の対象となる物事を捉え思考することにより、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（以下「見方・考え方」という。）が鍛えられていくことに留意し、児童が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図ること。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の具体的な内容については、中央教育審議会答申において、以下の三つの視点に立った授業改善を行うことが示されている。教科等の特質を踏まえ、具体的な学習内容や児童の状況等に応じて、これらの視点の具体的な内容を手掛かりに、質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けるようにすることが求められている。

- ① 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているかという視点。
- ② 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているかという視点。
- ③ 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているかという視点。

（小学校学習指導要領総則第3・1(1)より：中学校については児童を生徒とし、内容については同様の記載）

このようなことから、学習指導要領の趣旨を踏まえ、平成30年度までの、A問題【主として知識】、B問題【主として活用】を問う設問構成から、これらの区別を見直し、知識・活用を一体的に問う形式へと平成31年度から変更されています。また、ストーリーが組み込まれている問題形式や、日常生活の場面と関連している内容や構成が主となっています。「知識」と「活用」がそれぞれ分かれて育成されるのではなく、知識を活用した学習を通して知識の定着や知識理解の深まりが図られると考えます。つまり、知識と活用が相互に関連し合いながら資質・能力が育成されていきます。学習指導要領では、基礎的・基本的な知識・技能をいかに活用させて「生きて働く知識・技能」を培うかが求められています。

## 調査結果 小学校 国語

令和4年度 調査結果 小学校【国語】							
分類	区分	対象設問数 (問)	寒川町		神奈川県(公立)	全国(公立)	
			平均正答率	全国との差			
全体		14	<b>55</b>	<b>-10.6</b>	<b>65</b>	<b>65.6</b>	
学習指導 要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	5	<b>53.2</b>	<b>-15.8</b>	<b>65.6</b>	<b>69</b>
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	0				
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	<b>68.6</b>	<b>-9.3</b>	<b>73.2</b>	<b>77.9</b>
	思考力、判断 力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	2	<b>62.1</b>	<b>-4.1</b>	<b>66.3</b>	<b>66.2</b>
		B 書くこと	2	<b>39.0</b>	<b>-9.5</b>	<b>47.9</b>	<b>48.5</b>
		C 読むこと	4	<b>58.4</b>	<b>-8.2</b>	<b>69.5</b>	<b>66.6</b>

令和3年度 調査結果 小学校【国語】							
分類	区分	対象設問数 (問)	寒川町		神奈川県(公立)	全国(公立)	
			平均正答率	全国との差			
全体		14	<b>59</b>	<b>-5.7</b>	<b>63</b>	<b>64.7</b>	
学習指 導 要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	6	<b>59.8</b>	<b>-8.5</b>	<b>63.8</b>	<b>68.3</b>
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	0				
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0				
	思考力、判断 力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	<b>75.1</b>	<b>-2.7</b>	<b>78.9</b>	<b>77.8</b>
		B 書くこと	2	<b>56.3</b>	<b>-4.4</b>	<b>58.3</b>	<b>60.7</b>
		C 読むこと	3	<b>42.3</b>	<b>-4.9</b>	<b>48.7</b>	<b>47.2</b>

※濃い黒い網掛けは全国平均正答率との差が10ポイント以上、薄い黒の網掛けは全国平均正答率との差が5ポイント以上(以下同様)

## 調査結果 中学校 国語

令和4年度 調査結果 中学校【国語】						
分類	区分	対象設問数 (問)	寒川町		神奈川県(公立)	全国(公立)
			平均正答率	全国との差		
全体		14	<b>64</b>	-5.0	<b>69</b>	<b>69.0</b>
学習指導要領の領域等	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	6	<b>66.2</b>	-6.0	<b>72.3</b>	<b>72.2</b>
	(2) 情報の扱い方に関する事項	1	<b>36.6</b>	-9.9	<b>43.7</b>	<b>46.5</b>
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	<b>68.0</b>	-2.2	<b>70.5</b>	<b>70.2</b>
	A 話すこと・聞くこと	3	<b>57.9</b>	-6.0	<b>65.1</b>	<b>63.9</b>
	B 書くこと	1	<b>36.6</b>	-9.9	<b>43.7</b>	<b>46.5</b>
	C 読むこと	2	<b>65.8</b>	-2.1	<b>69.9</b>	<b>67.9</b>

令和3年度 調査結果 中学校【国語】						
分類	区分	対象設問数 (問)	寒川町		神奈川県(公立)	全国(公立)
			平均正答率	全国との差		
全体		14	<b>65</b>	0.4	<b>65</b>	<b>64.6</b>
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	<b>81.4</b>	1.6	<b>79.8</b>	<b>79.8</b>
	書くこと	3	<b>55.8</b>	-1.3	<b>57.2</b>	<b>57.1</b>
	読むこと	4	<b>49.0</b>	0.5	<b>49.6</b>	<b>48.5</b>
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	<b>74.0</b>	-1.1	<b>75.6</b>	<b>75.1</b>

※斑点の網掛けは全国平均正答率を上回ったもの

## 調査結果 小学校 算数

令和4年度 調査結果 小学校【算数】						
分類	区分	対象設問数 (問)	寒川町		神奈川県(公立)	全国(公立)
			平均正答率	全国との差		
全体		16	<b>55</b>	-8.2	<b>64</b>	<b>63.2</b>
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	<b>61.4</b>	-8.4	<b>69.4</b>	<b>69.8</b>
	B 図形	4	<b>57.6</b>	-6.4	<b>64.9</b>	<b>64.0</b>
	C 測定	0				
	C 変化と関係	4	<b>43.7</b>	-7.6	<b>53.3</b>	<b>51.3</b>
	D データの活用	3	<b>58.7</b>	-10.0	<b>69.5</b>	<b>68.7</b>

令和3年度 調査結果 小学校【算数】						
分類	区分	対象設問数 (問)	寒川町		神奈川県(公立)	全国(公立)
			平均正答率	全国との差		
全体		16	<b>67</b>	-3.2	<b>70</b>	<b>70.2</b>
学習指導要領の領域	A 数と計算	4	<b>58.7</b>	-4.4	<b>62.2</b>	<b>63.1</b>
	B 図形	3	<b>50.6</b>	-7.3	<b>57.3</b>	<b>57.9</b>
	C 測定	3	<b>72.2</b>	-2.6	<b>74.7</b>	<b>74.8</b>
	C 変化と関係	3	<b>72.1</b>	-3.8	<b>76.6</b>	<b>75.9</b>
	D データの活用	5	<b>75.2</b>	-0.8	<b>77.1</b>	<b>76.0</b>



## 調査結果 中学校 数学

令和4年度 調査結果 中学校 【数学】						
分類	平均正答率(%)	対象設問数 (問)	寒川町		神奈川県(公立)	全国(公立)
			平均正答率	全国との差		
全体		14	<b>45</b>	<b>-6.4</b>	<b>53</b>	<b>51.4</b>
学習指導要領の領域	A 数と式	5	<b>46.4</b>	<b>-11.0</b>	<b>57.9</b>	<b>57.4</b>
	B 図形	3	<b>37.9</b>	<b>-5.7</b>	<b>45.6</b>	<b>43.6</b>
	C 関数	3	<b>41.9</b>	<b>-1.7</b>	<b>46.0</b>	<b>43.6</b>
	D データの活用	3	<b>53.2</b>	<b>-3.9</b>	<b>57.8</b>	<b>57.1</b>

令和3年度 調査結果 中学校 【数学】						
分類	平均正答率(%)	対象設問数 (問)	寒川町		神奈川県(公立)	全国(公立)
			平均正答率	全国との差		
全体		16	<b>56</b>	<b>-1.2</b>	<b>58</b>	<b>57.2</b>
学習指導要領の領域	数と式	5	<b>63.7</b>	<b>-1.2</b>	<b>65.9</b>	<b>64.9</b>
	図形	4	<b>51.2</b>	<b>-0.2</b>	<b>54.0</b>	<b>51.4</b>
	関数	3	<b>55.8</b>	<b>-0.6</b>	<b>56.4</b>	<b>56.4</b>
	資料の活用	4	<b>51.0</b>	<b>-2.8</b>	<b>53.4</b>	<b>53.8</b>

## 調査結果 小学校 理科

令和4年度 調査結果 小学校 【理科】						
分類	区分	対象設問数 (問)	寒川町		神奈川県(公立)	全国(公立)
			平均正答率	全国との差		
全体		17	<b>57</b>	<b>-6.3</b>	<b>63</b>	<b>63.3</b>
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	4	<b>46.1</b>	<b>-5.5</b>	<b>51.8</b>	<b>51.6</b>
	「粒子」を柱とする領域	5	<b>50.8</b>	<b>-9.6</b>	<b>59.5</b>	<b>60.4</b>
	「生命」を柱とする領域	5	<b>69.6</b>	<b>-5.4</b>	<b>75.6</b>	<b>75.0</b>
	「地球」を柱とする領域	5	<b>59.5</b>	<b>-5.1</b>	<b>64.9</b>	<b>64.6</b>

## 調査結果 中学校 理科

令和4年度 調査結果 中学校 【理科】						
分類	平均正答率(%)	対象設問数 (問)	寒川町		神奈川県(公立)	全国(公立)
			平均正答率	全国との差		
全体		21	<b>46</b>	<b>-3.3</b>	<b>50</b>	<b>49.3</b>
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	6	<b>38.0</b>	<b>-3.9</b>	<b>42.4</b>	<b>41.9</b>
	「粒子」を柱とする領域	5	<b>50.0</b>	<b>-0.9</b>	<b>51.4</b>	<b>50.9</b>
	「生命」を柱とする領域	5	<b>55.2</b>	<b>-2.7</b>	<b>59.7</b>	<b>57.9</b>
	「地球」を柱とする領域	6	<b>40.5</b>	<b>-3.8</b>	<b>45.0</b>	<b>44.3</b>

【参考】全国の平均正答率(公立)の±10%の範囲内であれば、全国と大きな差は見られなかったと考える。

(出典) 令和4年度全国学力・学習状況調査 報告書(文部科学省 国立教育政策研究所)

◇ 国語について

ここ数年課題とされている「書くこと」について分析していきます。

## 【小学校】

設問番号	書くこと	出題の趣旨	問題形式			寒川町		
			選択式	短答式	記述式	正答率(%)	差 全国正答率との	無解答率
3一	【文章2】の「□□□□」の部分で、どのように気をつけて書いたのか、適切なものを選択する	文章全体の構成や書き方などに着目して、文や文章を整える	○			54.7	-4.5	2.4
3二	【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける			○	23.3	-14.4	24.0

## 【中学校】

設問番号	書くこと	出題の趣旨	問題形式			寒川町		
			選択式	短答式	記述式	正答率(%)	差 全国正答率との	無解答率
2三	農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く			○	36.6	-9.9	9.3

## 問題 小学校 3二

【伝え合いの様子の一部】を基に【文章2】のよさを書く

この問題の趣旨は、「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける」ことです。自分の文章のよいところとは、「内容や記述などに見られる表現などの具体的なよさ」「書こうとした内容の明確さ」「文章全体の構成や展開の明確さ」などのことです。本設問では、「6年生としてがんばりたいこと」を伝えることが目的であり、【伝え合い活動の一部】において、川口さんが「最後の段落がいいね。なぜかというところ」というようによいところを具体的に言葉で表しているため、そこを基に【文章2】の中からよいところを見付け出すことが必要となります。誤答の中には、「文章のよいところ」ではなく、「文章の中での『行動』のよいところ」を答えていたものもありました。何について問われているのかをはっきりさせ、問題文の内容を正しく理解することが必要です。

## 問題 中学校 2三

農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える

この問題の趣旨は、「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く」ことです。そのためには、まず、自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確かめることが必要です。その上で、自分の思いや考えを繰り返すだけでなく、根拠を文章の中に記述する必要があることを理解して書くことが重要です。また、引用の際には引用箇所を「かぎかっこ」でくくることが、出典を明示すること、引用部分を適切な量とすることなどについて確認する必要があります。

これまで「書くこと」が課題として挙げられてきました。令和4年度においても、自分の考えを持ち、表現する（書く）という設問に課題があると言えます。

校種や、設問内容が意図している目的によって変わりますが、「書くこと」は、誰に・何を報告するのかといった目的を明確にした上で、理由や事例を挙げて自分の考えをまとめて書くことになります。

どちらの問題にも共通している点は、まずは、「自分の考えを持つ」、そして「書く」という流れで、自分の感じたことや、考えたことを表現していくことです。さらに、なぜそのようなのか、根拠をはっきりとさせておくことも必要です。

単にただ、文字を写すといったことではなく、そこには「思考（考えをもつ）」を「表現（書く）」することが求められています。

「書く」ためには、思考しなければなりません。思考をして表現するという過程があります。つまり、書くためには、自分の考えをもつということが大事になってきます。また、子どもたちの「考え」の基盤は、自らの生活経験が大部分を占めます。学校教育活動をはじめとして、家庭や地域における体験活動や生活経験を大切に、児童・生徒が自分の考えや世界観を広げられるようにすることが大事となります。

また、「書くこと」の次に課題となっているのが「読むこと」です。「何が書かれているか」という内容を整理して読むこととともに、「どのように書かれているか」という表現面にも着目して読むことが大切です。物語全体をとらえられるようにし、着目した複数の叙述を基に考えたことを共有し交流する場面を設定することを通して、理解し想像する力をつけていくことが大切です。

## ◇ 算数・数学について

ここ数年課題とされている「数と計算」「数と式」について分析していきます。

## 【小学校 算数】

設問番号	数と計算	出題の趣旨	問題形式			寒川町		
			選択式	短答式	記述式	正答率(%)	の全国正答率と	無解答率
1 (1)	$1050 \times 4$ を計算する	被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる		○		90.6	-1.8	0.5
1 (2)	14と21の最小公倍数を求める	二つの数の最小公倍数を求めることができる		○		63.7	-8.5	6.3
1 (3)	カップケーキ7個分の値段を、 $1470 \div 3$ で求めることができるわけを書く	示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる			○	66.1	-9.9	9.6
1 (4)	$85 \times 21$ の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ	示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる	○			30.0	-4.8	1.9
3 (1)	表のしりとり欄に入る数を求める式と答えを書く	表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる		○		64.7	-10.6	3.1
3 (4)	1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く	加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる			○	53.4	-14.3	19.7

## 【中学校 数学】

設問番号	数と式	出題の趣旨	問題形式			寒川町		
			選択式	短答式	記述式	正答率(%)	の全国正答率と	無解答率
1	42を素因数分解する	自然数を素数の積で表すことができる		○		34.5	-17.7	21.5
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 2x+y=1 \\ y=x+4 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる		○		65.0	-9.5	10.9
6 (1)	同じ偶数の和である $2n+2n=4n$ について、 $n$ が9のときどのような計算を表しているかを書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる		○		66.3	-7.5	6.4
6 (2)	差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる			○	35.0	-13.7	24.1
6 (3)	ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる			○	31.0	-6.6	32.4

## 問題 小学校3 (4)

1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く

この問題の趣旨は、「加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる」ことです。輪投げのポイント数を求めたあかりさんの方法が「 $10 \times 15 + 5 \times 4 = 170$ 」であることを基にして、1年生と6年生の一人当たりのポイント数がそれぞれ10ポイントと5ポイントであること、輪投げを希望している人数がそれぞれ15人と4人であることから、 $10 \times 15$ が1年生のポイント数で $5 \times 4$ が6年生のポイント数であることを読み取り、この2つを足すことで輪投げのポイント数が求められることを読み取ることが大切になってきます。また、この式を計算するときには加法より先に乗法を計算することを理解しておく必要があります。

## 問題 中学校1

42を素因数分解する

この問題の趣旨は、「自然数を素数の積で表すことができる」ことです。整数の性質について理解を深める場面では、整数を様々な視点からとらえることができるようにするために、自然数を素数の積で表すことが大切です。例えば、42をその約数{1, 2, 3, 6, 7, 14, 21, 42}の積で表すと、 $2 \times 3 \times 7$ 、 $2 \times 21$ 、 $3 \times 14$ 、 $6 \times 7$ 、 $1 \times 42$ 、 $1 \times 2 \times 3 \times 7$ など様々な表し方があります。この中で42を「1とその数自体以外は約数をもたない数」としての素数の積で表したものは $2 \times 3 \times 7$ だけです。この問題を解くには、素数とは何かということを理解し、基礎となる問題を繰り返し練習することが必要となってきます。基礎となる土台がしっかりとできてから、その上に応用する力が積み重なります。

## 問題 中学校6 (2)

差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成する

この問題の趣旨は、「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる」ことです。ここでは、事柄が一般的に成り立つ理由を、構想を立て文字式や言葉を用いて根拠を明らかにして説明できることを目標としています。この問題を解くためには、差が4である2つの偶数の和を表した式を「 $4 \times (\text{整数})$ 」の形にすればよいという見通しを持って、式を変形できることが大切です。また、差が4である2つの偶数を文字を用いて式に表すには、片方を $2n$ とするともう一方はどのように表せるか説明できることも必要です。

また、「数と計算」「数と式」の次に今年度課題となっているのが、「データの活用」です。目的に応じて必要なデータを収集し、観点を決めて分類し、データの傾向や特徴を考察できるようにすることが重要です。そのためには、算数・数学の時間はもちろん、日常の中でもアンケートの結果等を表やグラフにし、活用していくことも大切です。

数に関する事象を考察する場面では、成り立ちそうな事柄を予想し、予想を確かめ、事

柄が成り立つ理由について筋道を立てて考え説明すること、さらに問題の条件を変えるなどして、発展的に考察することが大切です。そして、発展的に考察するためには、基本的な学習内容の定着が必要となってきます。

学習指導要領における「主体的・対話的で深い学び」のある授業を行うためには、数学的な見方・考え方を生かすことが必要です。数学的な見方・考え方とは、「事象を、数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、(論理的、)統合的・発展的に考えること」と明記されています。

算数・数学の授業においても「考えをもつことから書く」といった活動を中心に、「思考力・判断力・表現力」を育てていく必要性があります。前述したように、「書く」ためには、思考しなければなりません。よって算数・数学についても、書くためには、自分の考えを持つということが大事になってきます。そして、自分の考えをもつための道具として、基本的な学習内容の定着は大切です。

## ◇ 理科について

### 【小学校 理科】

今回課題があった「粒子を柱とする領域」について分析していきます。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	問題形式			寒川町		
			選択式	短答式	記述式	正答率(%)	の全国正答率と	無解答率
2(1)	一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く	メスシリンダーという器具を理解している		○		49.9	-17.9	13.5
2(2)	水50mLをはかり取る際に、メスシリンダーに入れた水の量を正しく読み取り、さらにスポイトで加える水の量を選ぶ	メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けている	○			61.9	-8.1	1.2
2(3)	水溶液の凍り方について、実験の結果を基に、それぞれの水溶液が凍る温度を見だし、問題に対するまとめを選ぶ	自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる	○			52.8	-10.0	1.2
2(4)	凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く	自然の事物・現象から得た情報を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる			○	31.3	-8.0	16.4

#### 問題 小学校2(4)

凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く

この問題の趣旨は「自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる」ことです。本設問では、自然の事物・現象から得た情報を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その

内容を書くことが求められます。そのためには、比較の考え方を働かせながら、違いや共通点をとらえていくことが大切です。1つの問題を解く中に、①自然の事物・現象から正しく情報を得る ②他者の視点で分析する ③自分の考えをもち、書くという3つのステップがあるので、この3つを整理して進めることで分かりやすくなってきます。問題の中の情報を整理し、その情報を基に自分の考えをもち、書くということは、どの教科でも今年度問われていることです。

## 【中学校 理科】

今回課題があった「地球」を柱とする領域について分析をしていきます。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	問題形式			寒川町		
			選択式	短答式	記述式	正答率(%)	の全国正答率と	無解答率
6(1)	玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選択する	玄武岩の露頭で化石が観察できるかを問うことで、岩石に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる	○			36.9	-11.1	0.5
6(2)	陸上のB地点で古生代のサンゴの化石が観察されることについて、垂直方向の変動だけで推論した他者の考察を検討し、水平方向の変動も踏まえた推論が必要であることを指摘する	過去の大地の変動について、垂直方向の移動だけで推論した他者の考察を、水平方向の移動も踏まえて、検討して改善できるかどうかをみる	○			57.0	-3.3	0.8
6(3)	東西方向と南北方向の地層の断面である露頭のスケッチから、地層が傾いている向きを選択する	地層の広がり方について、時間的・空間的な見方を働かせながら、ルートマップと露頭のスケッチを関連付け、地層の傾きを分析して解釈できるかどうかをみる	○			32.1	-2.1	1.1

### 問題 中学校6(1)

玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選択する

この問題の趣旨は「玄武岩の露頭で化石が観察できるかを問うことで、岩石に関する知識及び技能を活用できる」です。玄武岩が火成岩であるという知識と、マグマが冷えて固まった火成岩には化石が含まれないということに関連づけて考える必要があります。火成岩がどのようにしてできるのか、また、火成岩にはどのような種類の岩石があるのかを整理して理解しておくことが大切になってきます。

身近にある岩石に化石が含まれる可能性の有無について、岩石に関する知識及び技能を活用して判断することは、理科を学ぶことの意義や有用性を実感する上で大切です。



国語、算数・数学、理科の分析を通して、引き続きの課題として挙げられるものとして「自分の考えをまとめて書く」があります。

特に今年度は、単に「自分の考えをまとめて書く」だけでなく、「他者と話し合いをしながら、または他者の意見を取り入れながら自分の考えをまとめて書く」問題や、「根拠をはっきりとさせながら情報を取り入れて書く」問題などがありました。

先が見通すことが困難な今日において、「自ら問題を見つけ、議論を通じ修正していく力」が必要になります。そして、そのためには、各教科における基礎・基本となる内容をしっかりと理解しておくこともまた、大切なことです。

## ◇ 各教科における記述式問題について

### 【小学校 国語】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	問題形式			正答率(%)	寒川町の全国正答率と無解答率	
			選択式	短答式	記述式		との全国正答率と	無解答率
1四	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、( )でどのように話すかを書く	互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる			○	41.0	-6.7	5.8
2二	物語から伝わってくることを考え、【森田さんの文章】の( )に入る内容を書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像する			○	59.2	-9.1	18.2
3二	【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよきを書く	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける			○	23.3	-14.4	24.0

### 【中学校 国語】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	問題形式			正答率(%)	寒川町の全国正答率と無解答率	
			選択式	短答式	記述式		との全国正答率	無解答率
1三	スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く	自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す			○	41.4	-10.4	19.4
2三	農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く			○	36.6	-9.9	9.3
3四	「おれ」は何を「なるほど」と思ったのかについて、話の展開を取り上げて書く	場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する			○	71.9	-1.9	14.1



## 【小学校 算数】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	問題形式			寒川町		
			選択式	短答式	記述式	正答率(%)	の全国正答率と	無解答率
1(3)	カップケーキ7個分の値段を、 $1470 \div 3$ で求めることができるわけを書く	示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる			○	66.1	-9.9	9.6
2(4)	果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180mL入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる			○	40.1	-7.9	9.4
3(4)	1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く	加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる			○	53.4	-14.3	19.7
4(1)	示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す	正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる			○	42.5	-6.3	5.3

## 【中学校 数学】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	問題形式			寒川町		
			選択式	短答式	記述式	正答率(%)	の全国正答率と	無解答率
6(2)	差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる			○	35.0	-13.7	24.1
6(3)	ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる			○	31.0	-6.6	32.4
7(1)	コマ回し大会で使用するコマをヒストグラムの特徴を基に選び、選んだ理由を説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる			○	40.1	-3.9	1.6
8(2)	目標の300kgを達成するまでの日数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			○	34.5	-3.9	28.9
9(2)	$\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が $30^\circ$ になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも $60^\circ$ になることの説明を完成する	筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる			○	7.4	-5.1	45.4

## 【小学校 理科】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	問題形式			寒川町		
			選択式	短答式	記述式	正答率(%)	全国正答率との差	無解答率
1(2)	自分の観察の記録と新たに追加された他者の観察の記録を基に、問題に対するまとめを見直して書く	自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できる			○	56.6	-10.9	10.6
2(4)	凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く	自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる			○	31.3	-8.0	16.4
3(4)	問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く	実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる			○	26.0	-9.1	19.0

## 【中学校 理科】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	問題形式			寒川町		
			選択式	短答式	記述式	正答率(%)	全国正答率との差	無解答率
4(1)	ダイオウグソクムシとダンゴムシのあしの様子が異なることについて、生活場所や移動の仕方と関連付け、その理由を説明する	節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて、体のつくりと働きを分析して解釈できるかどうかをみる			○	76.1	1.6	6.4
5(3)	考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを説明する	考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善できるかどうかをみる			○	38.5	-4.8	31.8
8(1)	アリが視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を基に、課題に正対した考察を記述する	アリの行列のつくり方を探究する場面において、視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うことができるかどうかをみる			○	48.5	-6.7	14.3
8(2)	予想や仮説と異なる実験の結果が出る場合、その意味することや考えられる可能性について考え、実験の操作や条件制御の不備の可能性を指摘する	予想や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法について検討し、探究の過程の見通しをもつことができるかどうかをみる			○	50.7	-4.4	17.2
8(3)	生物Xが昆虫類かどうかアリと比較しながら、観点と基準を明確にして判断する	未知の節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるかどうかをみる			○	32.9	-6.3	0.8

## 「考え」を発信する場や機会をもつために

上記の結果は、小学校・中学校における国語と算数・数学の記述式の設問について示したものです。記述式の問題を解答するためには、「考えること」つまり「自分の考えをまとめる」ことが大切です。無回答率も含めて分析すると、記述式問題を苦手としている児童・生徒が多いということが言えます。

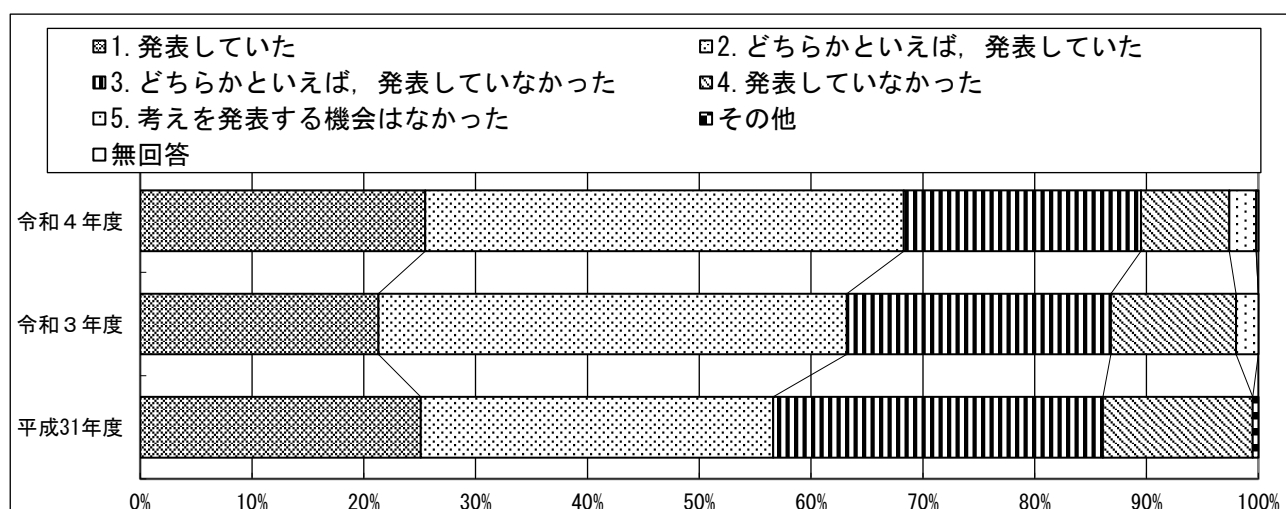
次の【児童質問紙(38)「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する場面では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」】及び中学校【生徒質問紙(38)「1、2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する場面では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを

工夫して発表していましたか】では、高い割合の児童・生徒が当てはまると回答し、小学校、中学校共に全国よりも高い値を示しています。このことから、授業の中で自分の考えをまとめ、伝わりやすく工夫して書き、相手に伝える活動がしっかりと位置づけられていることが分かります。児童・生徒自らが考え、発信できる場や機会が保障され、さらに児童・生徒自らが工夫する姿が結果から見えてきます。

学習指導要領解説 総則編では、「言語能力を支える語彙の段階的な獲得も含め、発達の段階に応じた言語能力の育成が図られるよう、国語科を要としつつ教育課程全体を見渡した組織的・計画的な取組が求められる」とあります。寒川町の小・中学校では、言語活動について、国語科だけでなく、各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて学校全体として取り組んでいるところです。引き続きこのような取組の目的を教師と児童・生徒で共有し、児童・生徒が自分の考えを文章等で表現することの大切さを実感できる学習を充実させていくことが大切です。

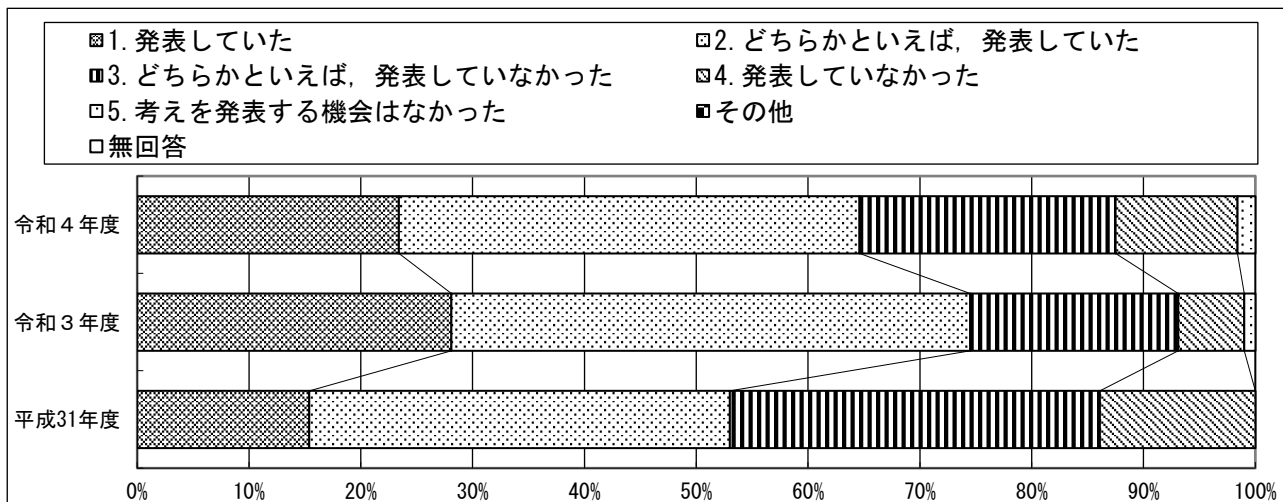
### 【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項										
(38)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	25.5	42.8	21.2	7.9	2.4			68.3		0.0	0.2
令和3年度	21.3	41.9	23.6	11.2	2.0			63.2		0.0	0.0
平成31年度	25.1	31.5	29.5	13.4				56.6		0.5	0.0



【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項										
(38)	1. 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	23.4	41.2	22.9	10.9	1.6			64.6		0.0	0.0
令和3年度	28.1	46.4	18.6	5.9	1.0			74.5		0.0	0.0
平成31年度	15.4	37.6	33.1	13.9				53.0		0.0	0.0

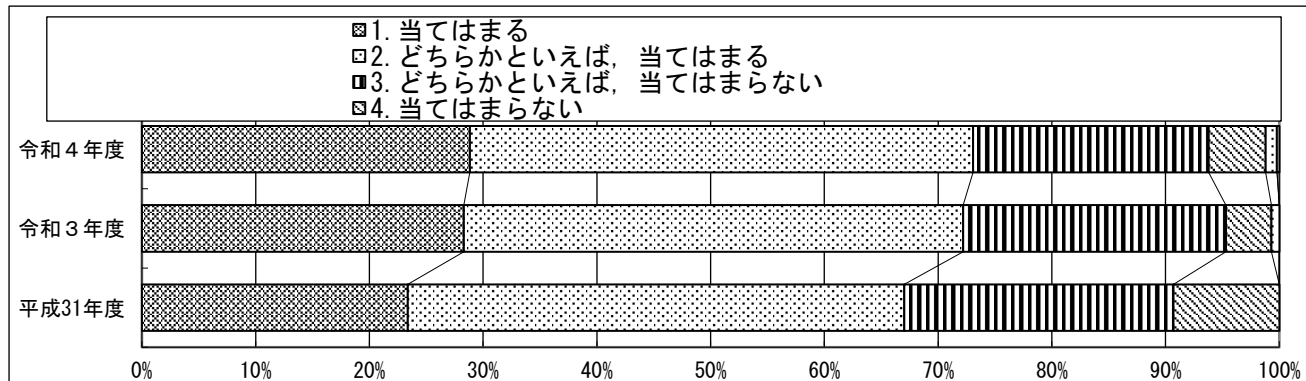


以下の項目は、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善に関する調査結果です。「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現のためには、対話的な学びの過程（他者との交流）が授業を構成する上で、大事となってきます。自分の考えを持ち、友達と交流をする場があることで対話が生まれます。さらに、深い学びにつながるように、単なる交流に終わらせないよう教師からの発問などのアプローチが必要です。

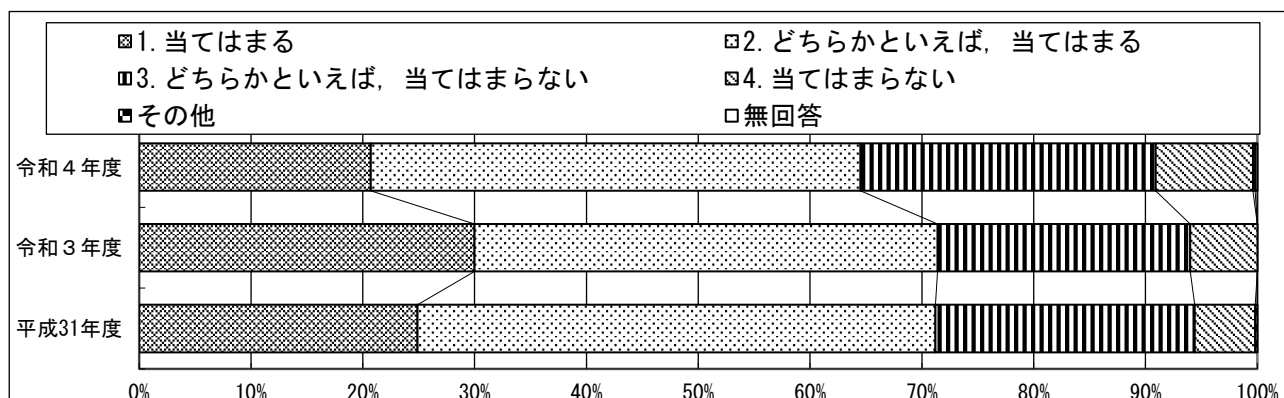
話し合いに向けた取組については、【児童・生徒質問紙（43）、（46）、（47）、（48）】にあります。

【小学校児童質問紙】

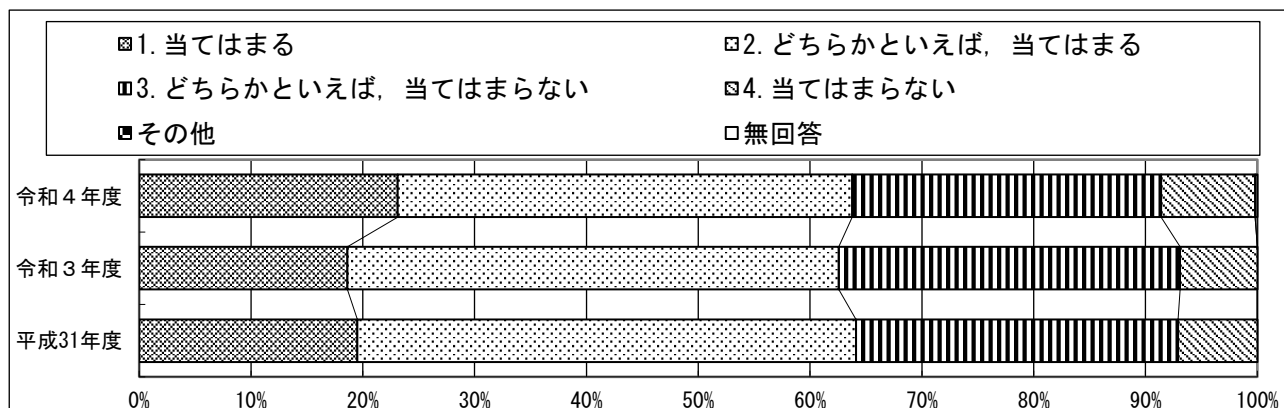
質問番号	質問事項										
(43)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	28.8	44.2	20.7	5.0	1.0			73.0		0.0	0.2
令和3年度	28.3	43.9	23.1	4.0	0.7			72.2		0.0	0.0
平成31年度	23.4	43.7	23.7	9.3				67.1		0.0	0.0



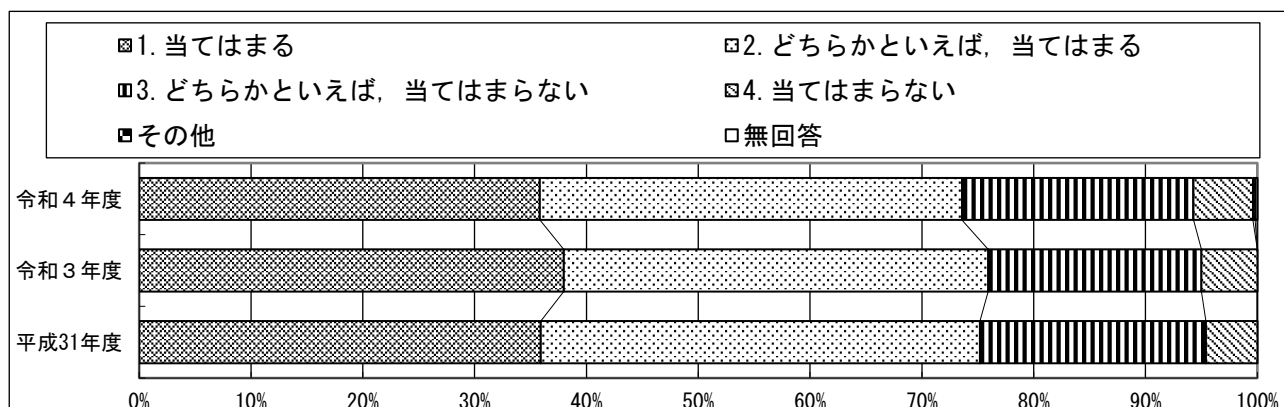
質問番号	質問事項										
(46)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	20.7	43.8	26.4	8.7				64.5		0.2	0.2
令和3年度	30.0	41.4	22.6	6.0				71.4		0.0	0.0
平成31年度	24.9	46.3	23.2	5.4				71.2		0.2	0.0



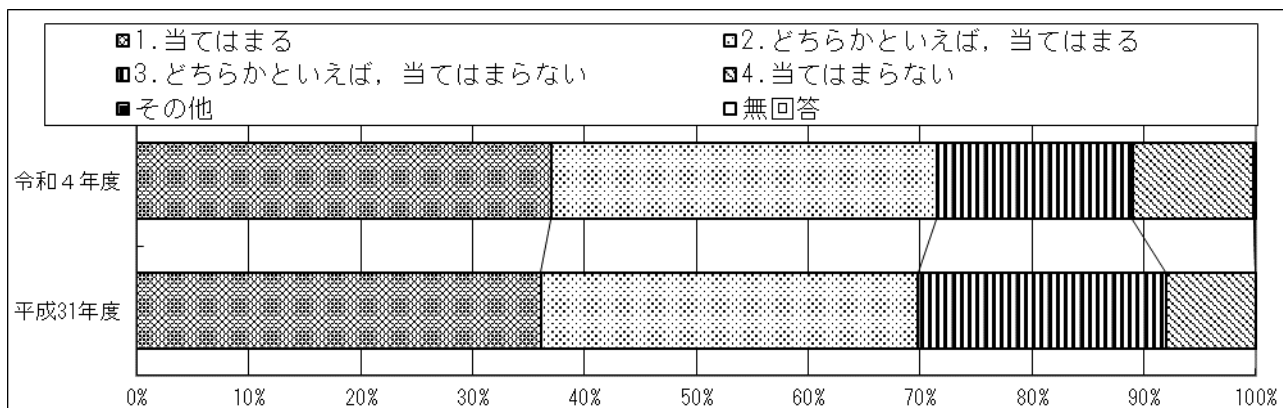
質問番号	質問事項										
(47)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	23.1	40.6	27.6	8.4				63.7		0.0	0.2
令和3年度	18.6	43.9	30.5	6.9				62.5		0.0	0.0
平成31年度	19.5	44.6	28.8	7.1				64.1		0.0	0.0



質問番号	質問事項										
(48)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	35.8	37.7	20.7	5.3				73.5		0.2	0.2
令和3年度	38.0	38.0	19.1	5.0				76.0		0.0	0.0
平成31年度	35.9	39.3	20.2	4.6				75.2		0.0	0.0

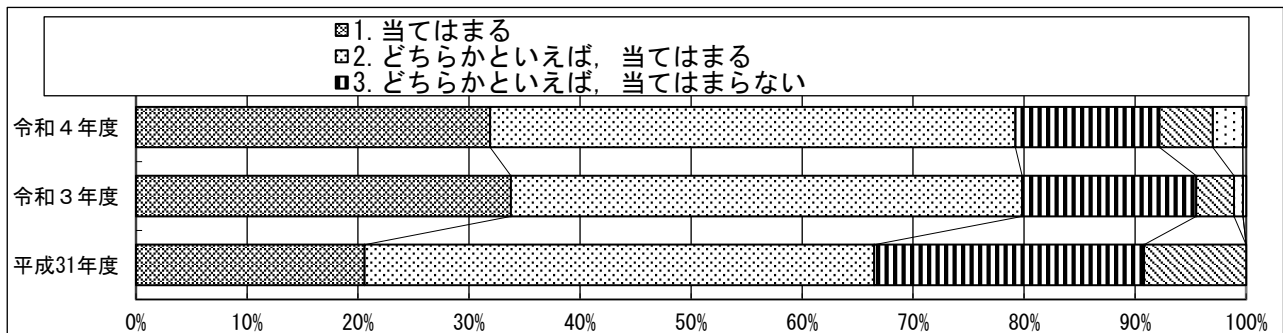


質問番号	質問事項										
(26)	読書は好きですか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	37.0	34.4	17.5	10.8				71.4		0.0	0.2
平成31年度	36.1	33.7	22.2	8.0				69.8		0.0	0.0

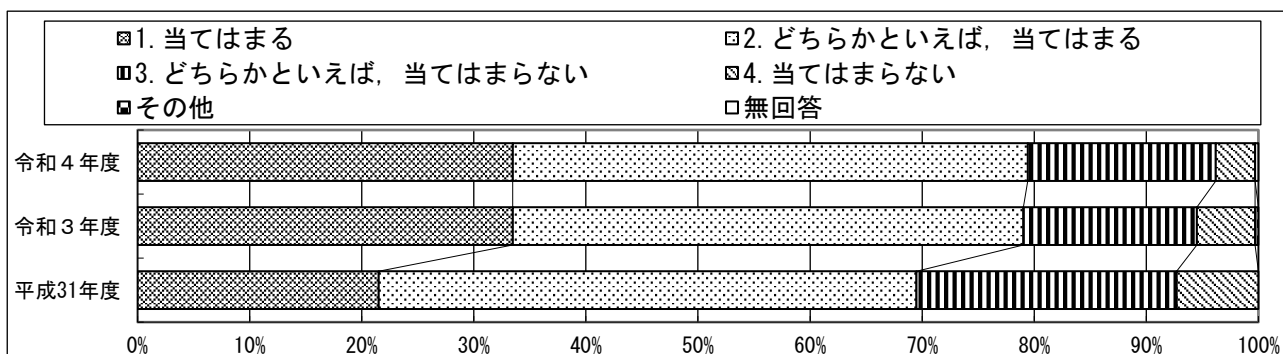


【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項										
(43)	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	31.9	47.3	13.0	4.8	2.7			79.2		0.0	0.3
令和3年度	33.8	46.1	15.7	3.4	0.8			79.9		0.0	0.3
平成31年度	20.6	45.9	24.3	9.2				66.5		0.0	0.0



質問番号	質問事項										
(46)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	33.5	46.0	16.8	3.5				79.5		0.0	0.3
令和3年度	33.5	45.6	15.5	5.2				79.1		0.3	0.0
平成31年度	21.5	48.0	23.2	7.3				69.5		0.0	0.0







今年度の児童・生徒質問紙の結果から、学級活動における話し合いが活発に行われている様子が伺えます。昨年度と比べると、ややポイントが下がっている項目もありますが、コロナ禍の影響を受けている期間が、令和4年度の児童・生徒は令和3年度の児童・生徒よりおよそ1年間長いことを考えると、その時々状況の中に応じた話し合い活動に取り組んできている様子が見て取れます。

また、【児童・生徒質問紙(48)】で示されているように、特別の教科 道徳の授業において、今求められる「考え、議論する道徳」の授業が展開されています。このように、授業において話し合い活動が積極的に行われ、他者と交流する機会が意図的・計画的に取り入れられている様子が伝わってきます。まさに、学習指導要領に沿って取り組んでいる、授業改善の視点の一つの表れである「主体的・対話的で深い学び」の学習スタイルが定着していることがわかります。

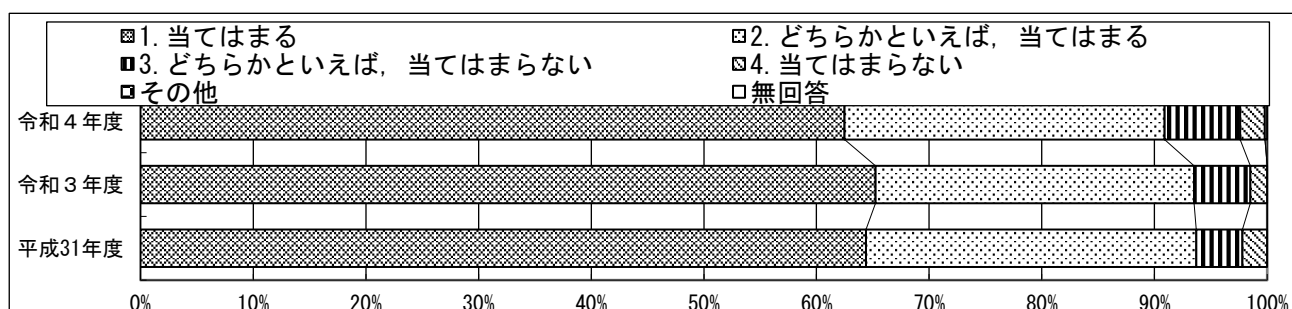
また、【児童・生徒質問紙(26)「読書は好きですか」】では約7割の児童・生徒が肯定的に回答しています。対話的な学びというのは、必ずしも会話をすることが必要な訳ではありません。本を読み、先哲の考えを知り、自分の考えと比べ自分の中に落とし込む。そういった過程の中で自分との対話を通して学ぶことも「対話的な学び」と言えるのです。今年度の学力・学習状況調査の問題の中には、「他者の意見や考えを受けて、自分の考えをまとめる」問題が多くありました。今後は、「友達との会話や文章の中の新たな考えを受けて、自分がどう考えを受け止め、調整し、枠を広げていくか」という学びがさらに必要になってきます。教師だけでなく児童・生徒にも「主体的・対話的で深い学び」という学習スタイルが少しずつ馴染み、浸透してきている姿が見えてきている中、今後も感染対策を十分に講じ、多様な手法を検討しながら、様々な教科、時間、場面を通じて、「主体的・対話的で深い学び」を推進していく必要があります。

また、以下に、国語科に関して【児童・生徒質問紙(50)「国語の勉強は大切だと思いますか」】、算数(数学)科に関して【児童・生徒質問紙(54)「算数(数学)の勉強は大切だと思いますか」】理科に関して【児童・生徒質問紙(62)「理科の勉強は大切だと思いますか」】についての結果を示しています。

### 〔国語に関する質問紙調査〕

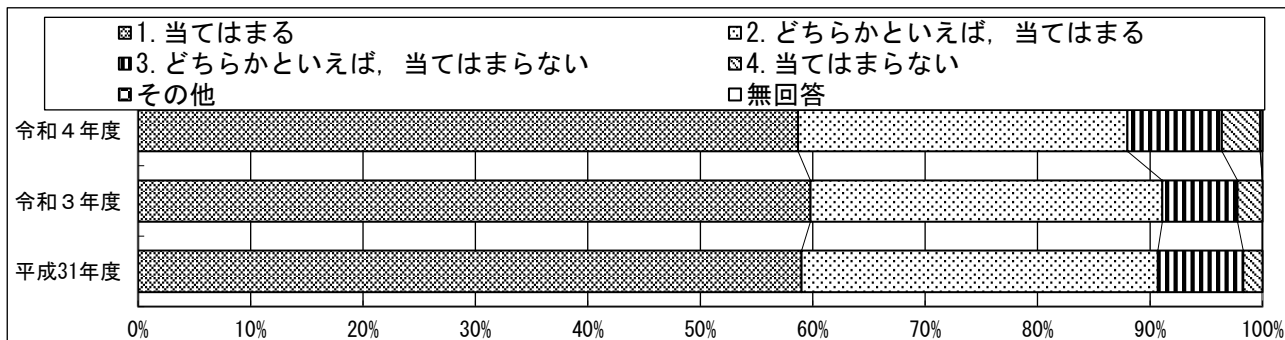
#### 【小学校】

質問番号	質問事項										
(50)	国語の勉強は大切だと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	62.5	28.4	6.7	2.2				90.9		0.0	0.2
令和3年度	65.3	28.3	5.0	1.5				93.6		0.0	0.0
平成31年度	64.4	29.3	4.1	2.2				93.7		0.0	0.0



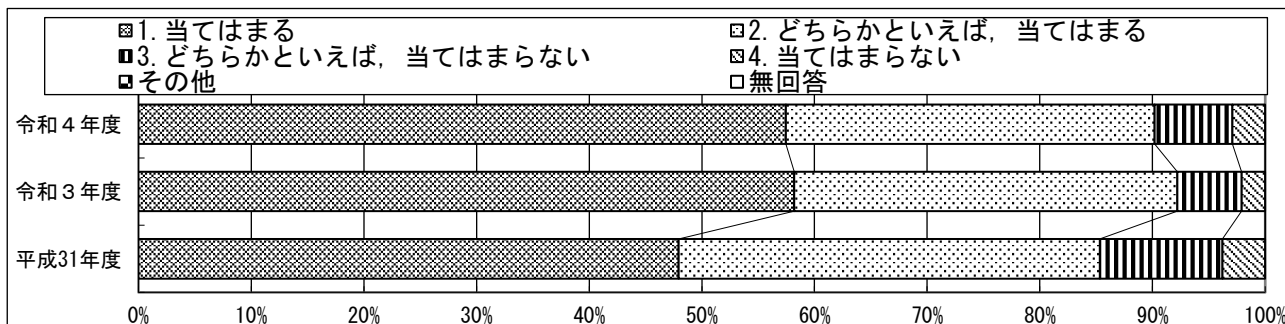


質問番号	質問事項										
(52)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	58.7	29.3	8.4	3.4				88.0		0.0	0.2
令和3年度	59.8	31.3	6.7	2.2				91.1		0.0	0.0
平成31年度	59.0	31.7	7.6	1.7				90.7		0.0	0.0

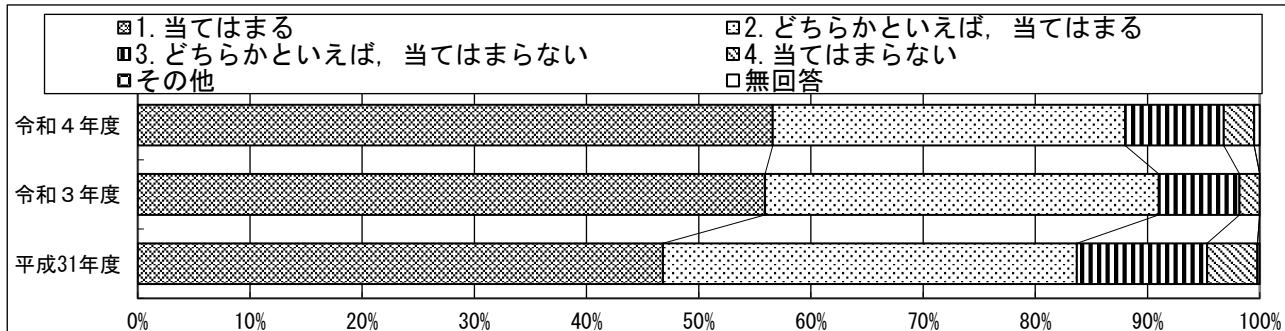


【中学校】

質問番号	質問事項										
(50)	国語の勉強は大切だと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	57.4	32.7	6.9	2.9				90.1		0.0	0.0
令和3年度	58.2	34.0	5.7	2.1				92.2		0.0	0.0
平成31年度	48.0	37.4	10.9	3.8				85.4		0.0	0.0



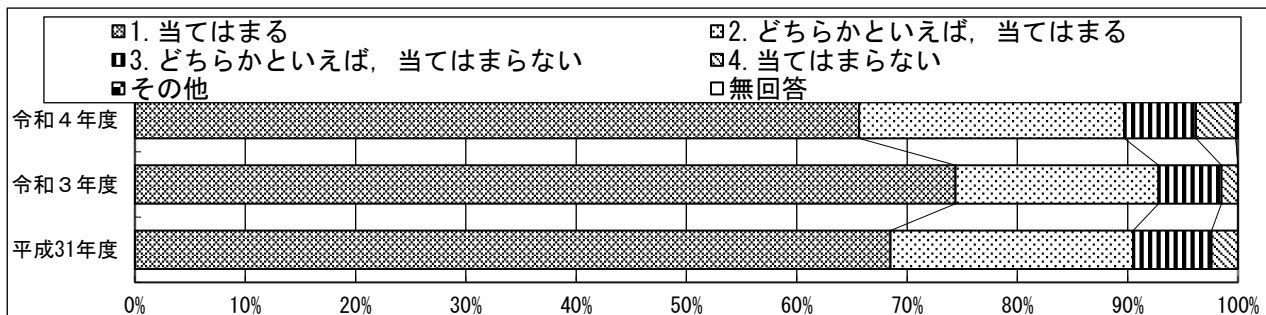
質問番号	質問事項										
(52)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	56.6	31.4	8.8	2.7				88.0		0.0	0.5
令和3年度	55.9	35.1	7.2	1.8				91.0		0.0	0.0
平成31年度	46.8	36.9	11.6	4.5				83.7		0.0	0.2



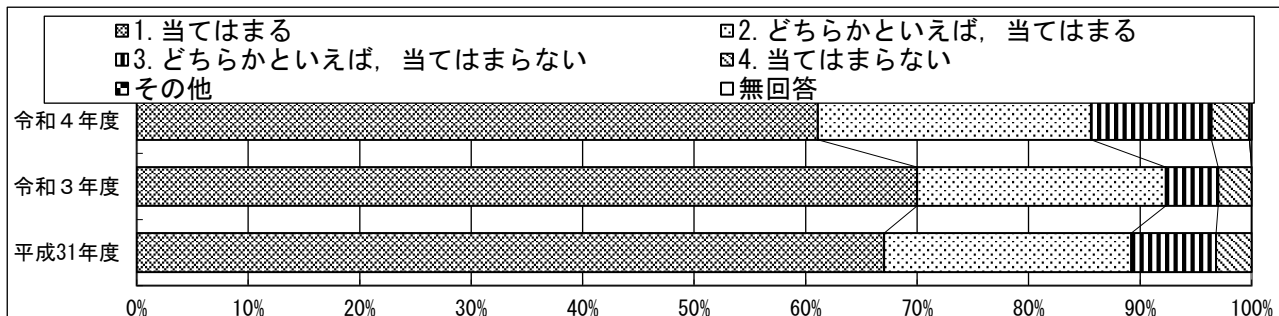
〔算数（数学）に関する質問紙調査〕

【小学校】

質問番号	質問事項										
(54)	算数の勉強は大切だと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	65.6	24.0	6.5	3.6				89.6		0.0	0.2
令和3年度	74.4	18.4	5.7	1.5				92.8		0.0	0.0
平成31年度	68.5	22.0	7.1	2.4				90.5		0.0	0.0

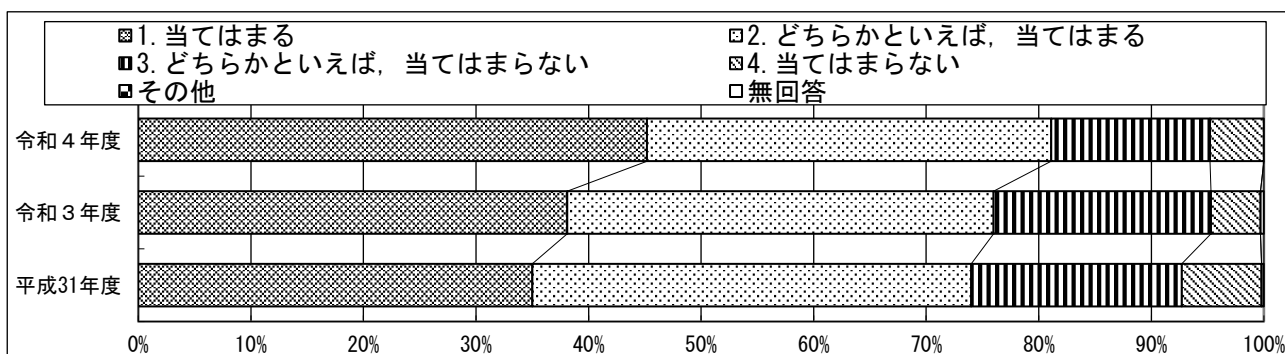


質問番号	質問事項										
(56)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	61.1	24.5	10.8	3.4				85.6		0.0	0.2
令和3年度	70.0	22.3	4.7	3.0				92.3		0.0	0.0
平成31年度	67.1	22.2	7.6	3.2				89.3		0.0	0.0

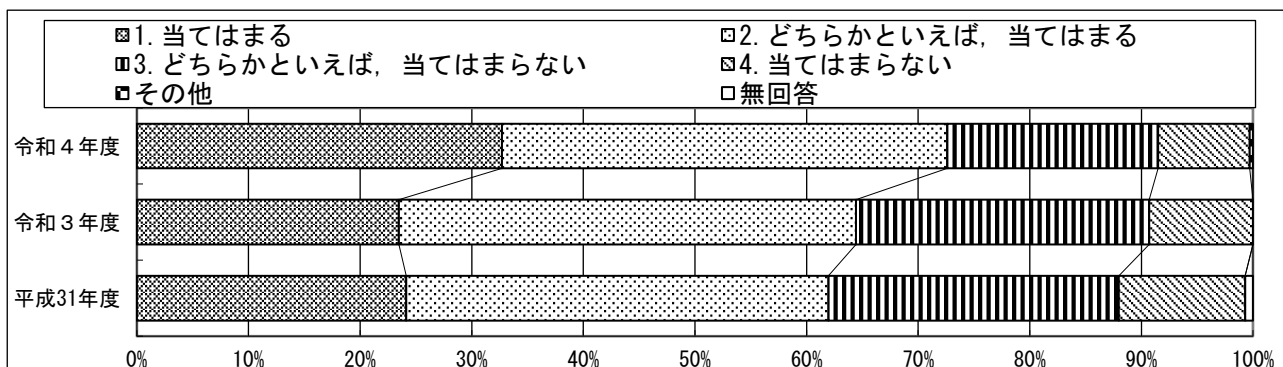


【中学校】

質問番号	質問事項										
(54)	数学の勉強は大切だと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	45.2	35.9	14.1	4.8				81.1		0.0	0.0
令和3年度	38.1	37.9	19.3	4.4				76.0		0.0	0.3
平成31年度	35.0	39.0	18.7	7.1				74.0		0.0	0.2



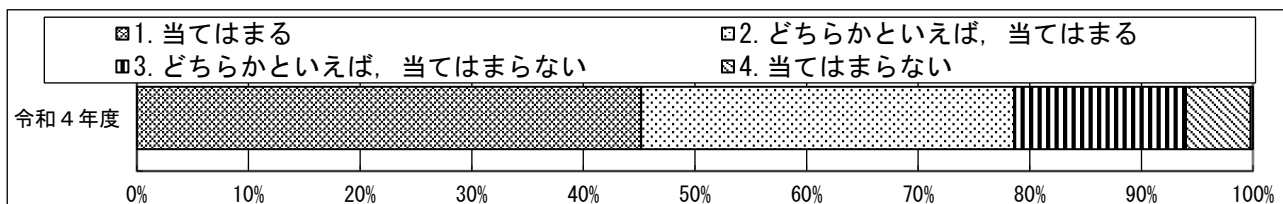
質問番号	質問事項										
(56)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	32.7	39.9	18.9	8.2				72.6		0.3	0.0
令和3年度	23.5	41.0	26.3	9.3				64.5		0.0	0.0
平成31年度	24.1	37.8	26.0	11.3				61.9		0.0	0.7



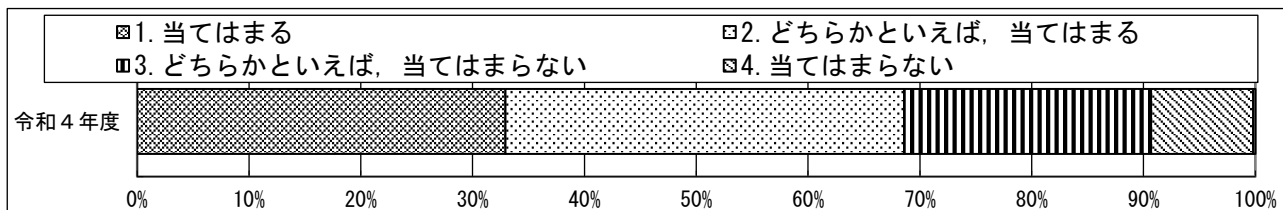
[理科に関する質問紙調査]

【小学校】

質問番号	質問事項										
(62)	理科の勉強は大切だと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	45.2	33.4	15.4	5.8				78.6		0.0	0.2

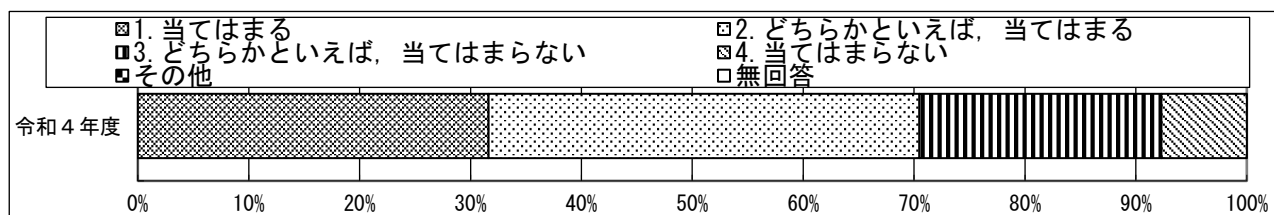


質問番号	質問事項										
(65)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	32.9	35.6	22.1	9.1				68.5		0.0	0.2



## 【中学校】

質問番号	質問事項										
(62)	理科の勉強は大切だと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	31.6	38.8	21.8	7.7				70.4		0.0	0.0



質問番号	質問事項										
(65)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	19.4	37.8	29.5	13.0				57.2		0.0	0.3



小学校・中学校共に、教科の勉強が大切であることを認識し、また、その勉強が将来社会に出たときに役に立つと認識していると、多くの児童・生徒が感じていることが結果から伺えます。これが児童・生徒の学びに向かう力の大きな支えになっていると考えられます。理科については、全国平均同様、国語、算数・数学より役に立つという回答が少なくなっていますが、理科とは、自分自身を含めた自然について学ぶ教科であるため、「社会に出てから役に立つ」というよりは、「生きるために役に立つ」と考えられるかもしれません。

寒川町の小・中学校の校内研究では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりに取り組んでいます。学習指導要領で求められていることと、寒川町が向かっている方向性は同じです。自分の考えを書く・話すという活動は、学習指導要領における3つの柱の一つである「思考力・判断力・表現力等」の育成につながります。

「考えること（思考力）」を育てていくためには、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善の取組を進めていき、今後も「自分の考えを話したり、書いたり」という活動を、授業において意図的・計画的に取り入れることが必要となります。このことによって、子どもたちが自分の考えを持つことができるようになると思われます。

また、今年度の課題として、小学校・中学校ともに「他者の視点を取り入れ、調整し、自分の考えをまとめる」「2つの表を比較して考えをまとめる」などの活用を問う問題を苦手とする傾向が見られました。この部分は、学習評価の3つの観点の一つ「主体的に学習に取り組む態度」の中の「自己の学びを調整する力」につながります。今後ICTの活用も含め、意見を共有し、さらにそこから自分の考えの枠を広げ、「より深めた考えをしっかりとまとめ、書く」という力を育成していくことが大切です。そして、活用の力をつける

ためには、それを支える基礎基本をしっかりと築く必要があることを忘れてはいけません。自分の考えをまとめ、他者と共有し、さらにもう一度自分の考えに戻り、自分自身の考えの変容を感じる中で、そこに出てくる基本的な内容をしっかりと押さえる。このような授業を展開していく事で、今年度の課題の解決、さらに「主体的・対話的で深い学び」の実現に向かうと考えます。

「どんな子どもたちに育てたいのか」という明確なビジョンを教師がもって授業づくりに臨むこと、そして、このような「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりを核とした取り組みを継続的に行うことで、児童・生徒一人ひとりの考える力を伸ばすことができると考えます。

### 3 今後に向けて

～今までも大切にしていたこと、これからも大切にすること～

◇家庭で育まれていること、これからも育んでほしいこと

◇学校で育まれていること、これからも育んでいくこと

◇主体的・対話的で深い学びの授業改善を通して育まれたこと

これからも育んでいきたいこと

◇教室を離れても学び続ける子ども姿を…

## 家庭ではぐくまれていること、これからも育てほしいこと

### ◇保護者の支えがあって、育まれてきたこと

ここ数年の経年変化のデータにより、家庭における基本的な生活習慣においては、保護者の家庭での協力によって、規則正しい生活を送っている児童・生徒が多い傾向が見られます。児童・生徒のよりよい成長につなげるためには、家庭と地域の協力が必要となります。これまで、家庭で取り組んできた積み重ねが着実に成果として表れています。

しかしながら、放課後の学習時間の取組において、例年に比べて低い結果が見られました。この部分については、学校・学級と地域が相互に課題を認識、共にその解決に取り組んでいくことが必要です。

### ◇家庭での会話で育てていきたいこと

児童・生徒質問紙調査から、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」では高い割合で守っているとの回答となっています。家庭においてもきまりを守ろうとする良好な関係性が築かれていることがわかります。

一方で「一日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」については、小・中学校共に4割近くの人が3時間以上と回答しており、全国平均よりも高い傾向が見られます。コロナ禍で家の中で過ごす時間が増えたことに加え、児童・生徒が1人で自由に使用できるスマートフォンやコンピュータ機器が増えていることなどの影響が考えられます。このことから家庭において多くの時間を児童・生徒が「個の時間」として過ごしていることが伺えます。

テレビゲームの時間が短いグループほど、教科調査の正答率が高いというデータもあることから、一日当たりテレビゲームに費やす時間の長さは課題であると捉えています。家庭版学校教育だよりなどで、保護者に対して改善に向けた理解と協力を呼びかけていくなどの対応が必要であると考えます。

ここまでの分析において「考える」ということを課題として挙げました。家庭において、話す機会を確保することによって、現在の子どもたちの様子や状況について理解することができるとともに、「考えて、発信する」という場が必然的に生じます。家庭においても、話す機会と時間を確保して、児童・生徒にとっての思考力を伸ばしていくためにも、話す機会を大切にしてほしいと思います。

## 学校ではぐくまれていること、これからも育てていくこと

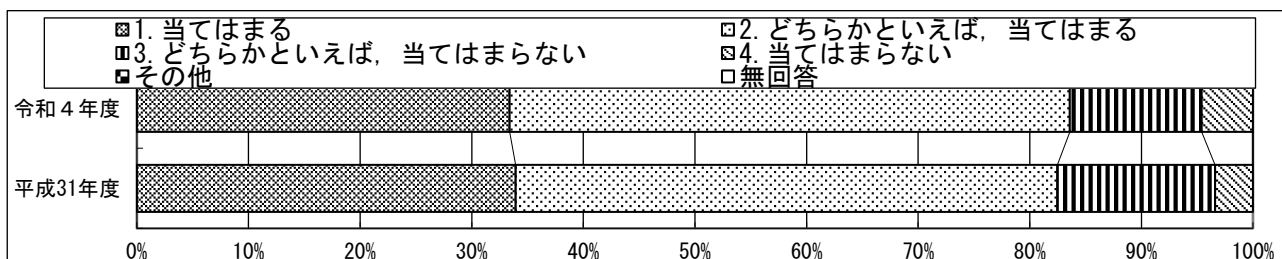
### ◇先生と児童・生徒との温かい関わりの中で、育まれていること

今年度の質問紙調査結果や日頃の小・中学校の様子から児童・生徒と先生の信頼関係の高さが見られます。これは寒川町の強みとして、今後も大切にしていきたいところです。

【児童生徒質問紙(8)】「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」からは、多くの児童・生徒が先生から認められていると感じていることが分かります。また、【児童生徒質問用紙(14)】「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」では、小学校・中学校ともに全国平均よりも多くの児童・生徒が「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答えています。このような信頼関係が素地となって、学級・学校での文化が育まれていきます。児童・生徒にとって、信頼関係がある中で、安心して学ぶことができるという基盤があることは、重要なことです。そのような環境の中で、難しいことでも挑戦しようという気持ちが育まれている様子が伺えます。

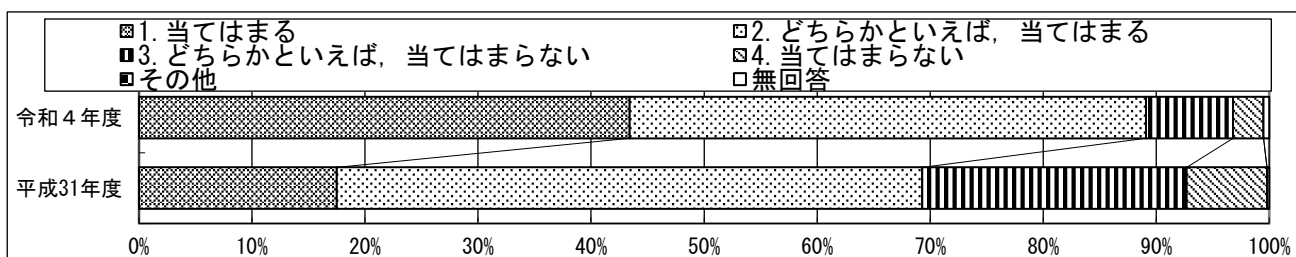
#### 【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項										
(8)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	33.4	50.2	11.8	4.6				83.6		0.0	0.0
平成31年度	33.9	48.5	14.1	3.4				82.4		0.0	0.0



#### 【中学校生徒質問紙】

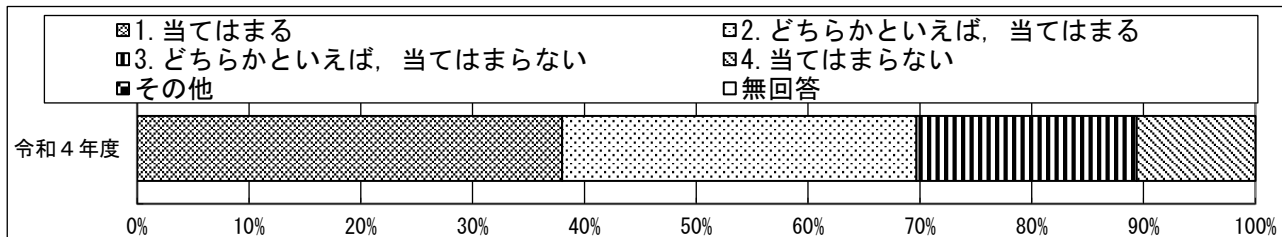
質問番号	質問事項										
(8)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	43.4	45.7	7.7	2.7				89.1		0.0	0.5
平成31年度	17.5	51.8	23.4	7.1				69.3		0.0	0.2





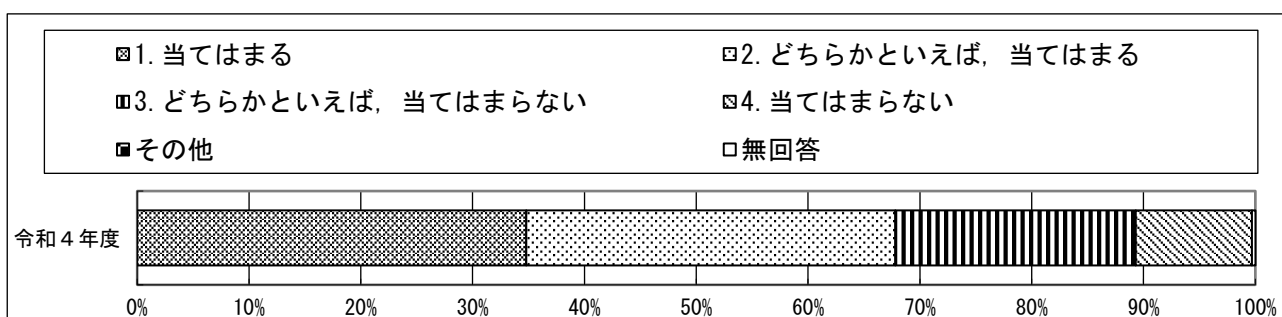
【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項										
(14)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	38.0	31.7	19.7	10.6				69.7		0.0	0.0



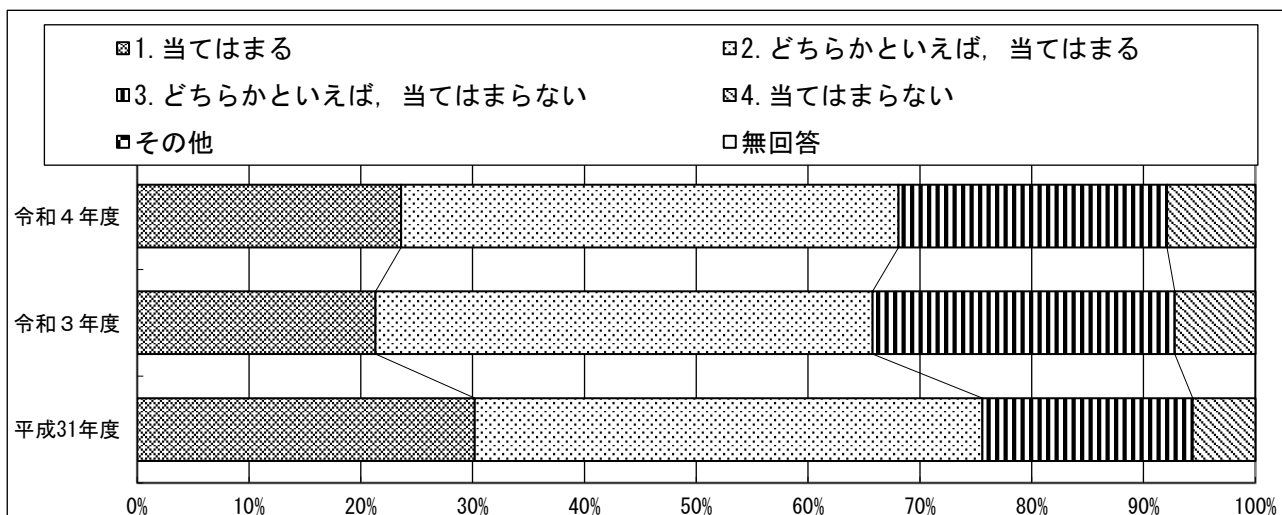
【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項										
(14)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	34.8	33.0	21.5	10.4				67.8		0.0	0.3



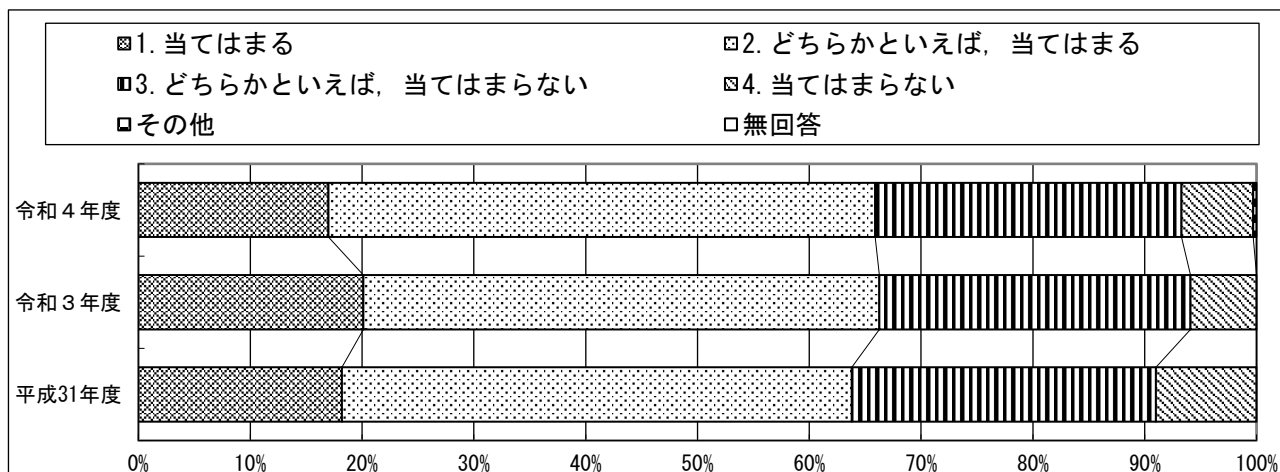
【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項										
(11)	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	23.6	44.5	24.0	7.9				68.1		0.0	0.0
令和3年度	21.3	44.4	27.0	7.2				65.7		0.0	0.0
平成31年度	30.2	45.4	18.8	5.6				75.6		0.0	0.0



## 【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項										
(11)	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	17.0	48.9	27.4	6.4				65.9		0.3	0.0
令和3年度	20.1	46.1	27.8	5.9				66.2		0.0	0.0
平成31年度	18.2	45.6	27.2	9.0				63.8		0.0	0.0



上記の【児童・生徒質問紙調査(11)】から、児童・生徒が苦手としていることにおいても何とか挑戦しようと前向きに取り組む姿が見られます。これも日ごろから児童・生徒に声をかけて励ましたり、分かりやすい説明となるように工夫したりする教師の陰ながらの努力があります。このような日々の積み重ねによって、あきらめずに取り組むという姿勢が育まれていくと考えられます。教師が児童・生徒一人ひとりに対して、丁寧に関わることで、学習に対する意欲がわき、児童・生徒もあきらめずに取り組もうとする粘り強さが育まれていくと考えられます。教師の姿が、まさに子どもの姿として表れています。

3つの育成すべき資質・能力における「学びに向かう力」が大切にしている側面に、粘り強さがあります。この「学びに向かう力」は、家庭と学校のしっかりとした生活の基盤があってこそ、育まれていくものです。家庭における規則正しい生活習慣の確立と、教師が児童・生徒一人ひとりに対して、温かく丁寧に接することによって、物事に対してあきらめずに前向きな姿勢を育成していくことができると考えられます。

### 主体的・対話的で深い学びの授業改善を通して育まれたこと、これからも育んでいきたいこと

「主体的・対話的で深い学び」の授業改善においては、各校での継続的で熱心な取り組みが児童・生徒質問紙調査の結果に表れています。

寒川町の各小・中学校では、校内研究において、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、研究に取り組んでいます。また、さむかわ学びっ子推進委員会において、各校の校内研究の様子や状況について、情報交換を通して、互いの学校に持ち帰って参考としながら、さらに研究を深めています。町内全小・中学校で、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて研究に取り組むことができていることは、とても価値のあること

です。教科調査の分析結果からは、各教科に共通して「理由を記述する」「思考すること」「説明すること」に課題があることが見えてきました。「思考力・判断力・表現力等」を育てていくためにも、「主体的・対話的で深い学び」の授業研究を深めていくことが大切です。

しかしながら、我々が求めていることは「主体的・対話的で深い学び」の授業改善が目的ではなく、寒川の子どもたちに育まれるべき、3つの資質・能力を育成することが目指すべきゴールとなります。「どんな子どもに育てていきたいか」を常日ごろより意識し、よりよい授業づくりに向けて取り組む必要があります。

今後も、校内研究や学びっ子育成推進事業を柱として、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組をさらに推進して、子どもたちの資質・能力を育むとともに、教師の授業力を向上させていきたいと考えています。

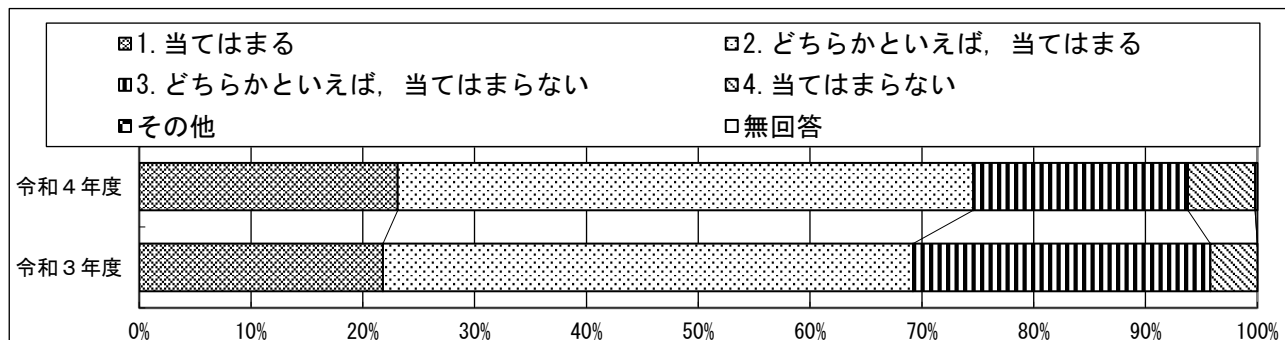
## 教室を離れても学び続ける子どもの姿を・・・

昨年度より質問紙に加わった項目【児童・生徒質問項目(44)「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか】について、この質問項目からは、「授業で学んだことを、次の学習に生かすことができる」、つまり学校での学びを振り返り、つなげることで、他の教科と関連づけたりしながら、活用していく姿がイメージできます。

今日、先を見通すことが難しい時代を生き抜くために、子どもたちには、「自分で課題を見つけ、対話をしたり新しい情報を取り入れたりする中で修正していく力」が必要となります。また、これから先、学習したことをどのように活用するかが大事となってきます。学校では、単に知識を獲得するのではなく、学んだことを活用したり考えを伝え合ったり、さらにそこから自分の考えをまとめ、調整する学習を充実させ、「生きて働く知識」となるように努め、さらには「学びを教室という狭い空間」で完成させるのではなく、「教室を離れても学び続ける姿」を、意識しながら授業を創っていくことが必要であると考えます。家庭や地域では、子どもたちのがんばりを認め、温かいことばで伝えることで、安心して様々な物事にチャレンジできる環境づくりにご協力をお願いします。

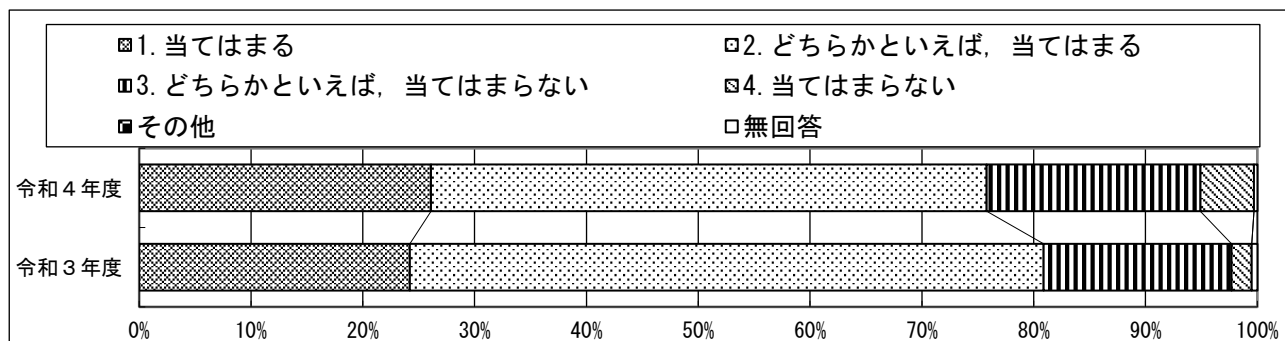
## 【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項										
(44)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	23.1	51.4	19.2	6.0				74.5		0.0	0.2
令和3年度	21.8	47.4	26.6	4.2				69.2		0.0	0.0



## 【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項										
(44)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる(1+2)	9	その他	無回答
令和4年度	26.1	49.7	19.1	4.8				75.8		0.0	0.3
令和3年度	24.2	56.7	16.8	1.8				80.9		0.0	0.5



以上のように、児童・生徒の努力、保護者の支え、地域の協力、学校における授業改善の実現によって、寒川の子どもたちの資質・能力が少しずつですが、着実に積み上げられてきていることがわかります。学校、地域、家庭が、子どもたちの未来のために、これからも同じ方向を向いて、一緒に手を取り合って取り組むことが必要です。

今後も、それぞれが適切な役割を果たしつつ、パートナーとして、未来の宝である「寒川の子どもたちのため」に連携、協力していきたいと思います。